

令和元年度着手
令和7年度計画変更(第1回)

しもやま
県営 下山地区 土地改良事業計画書
(農地環境整備事業)

愛 知 県

目 次

【 全 体 】

第1章	目 的	1	1	営農計画の概要	32
第2章	地域及び地積	1	2	土地利用区分	32
第1節	地 域	1	3	作付方式	33
第2節	地 積	2	4	生産計画	34
第3章	現 況	3	5	労働改善計画	36
第1節	気 象	3	6	級地別土地利用区分	36
1	一般気象	3	7	土地配分計画	36
2	特殊気象	5	第3節	用水計画	36
第2節	土地状況	7	1	計画基準年	36
1	地形、土壌及び浸食の程度	7	2	計画かんがい方式	36
2	土地分類	8	3	計画用水系統	36
3	土地利用の状況	9	4	計画用水量	41
4	土地所有の状況	10	5	水源計画	41
第3節	水利状況	13	第4節	排水計画	43
1	用水状況	13	1	計画基準雨量	43
2	排水状況	18	2	計画排水方式	43
3	河川状況	24	3	計画排水系統	43
第4節	道路概況	25	4	計画排水量	48
第5節	地域農業の概況	25	5	排水対策	48
1	産業別就業人口	25	6	湛水検討	49
2	経営耕地広狭別農家数及び主副業別農家数	26	第5節	道路計画	49
3	動力農機具及び主要家畜頭数	26	第6節	農用地造成計画	49
4	主要作物作付状況	27	第7節	洪水調整計画	49
5	農業の動向	28	第8節	干拓計画	49
第6節	地域環境の概況	29	第9節	農用地整備計画	50
第4章	一般計画	30	1	区画整理	50
第1節	事業計画の要旨	30	2	暗渠排水	50
1	要 旨	30	3	客土	51
2	事業別面積	31	4	農地保全	51
第2節	営農計画及び土地利用計画	32	第10節	老朽ため池改修計画	52

第5章	主要工事計画	52
第1節	用水施設	52
1	貯水池	52
2	頭首工	52
3	揚水機	52
4	用水路	52
5	その他かんがい施設	52
第2節	排水施設	53
1	排水水門	53
2	排水機	53
3	排水路	53
4	その他排水施設	53
第3節	道路及び索道	53
1	道路	53
2	索道	53
第4節	農用地造成	53
第5節	洪水調整施設	54
第6節	干拓施設	54
第7節	農用地整備施設	54
1	区画整理	54
2	暗渠排水	54
3	客土	55
4	除礫	55
5	農地保全	55
第8節	老朽ため池改修施設	55
第6章	付帯工事計画	55
第7章	工事の着手及び完了の予定時期	56
第8章	環境との調和への配慮	56
第9章	換地計画の概要	57
第10章	事業費の総額及び内訳	57
第11章	効用	58
第12章	関連する事業	60

【 農業用排水施設（用水） 】

第1章	目 的	61	第8節	干拓計画	66
第2章	地域及び地積	61	第9節	農用地整備計画	66
第1節	地 域	61	第10節	老朽ため池改修計画	66
第2節	地 積	61	第5章	主要工事計画	67
第3章	現 況	61	第1節	用水施設	67
第1節	気 象	61	第2節	排水施設	67
第2節	土地状況	62	第3節	道路及び索道	67
1	地形、土壌及び浸食の程度	62	第4節	農用地造成	67
2	土地分類	63	第5節	洪水調整施設	67
3	土地利用の状況	63	第6節	干拓施設	67
4	土地所有の状況	63	第7節	農用地整備施設	67
第3節	水利状況	63	第8節	老朽ため池改修施設	67
第4節	道路概況	63	第6章	付帯工事計画	68
第5節	地域農業の概況	64	第7章	工事の着手及び完了の予定時期	68
第6節	地域環境の概況	64	第8章	環境との調和への配慮	68
第4章	一般計画	64	第9章	換地計画の概要	68
第1節	事業計画の要旨	64	第10章	事業費の総額及び内訳	69
1	要 旨	64	第11章	効 用	69
2	事業別面積	64	第12章	関連する事業	70
第2節	営農計画及び土地利用計画	64	第13章	現況・計画平面図	70
1	営農計画の概要	64			
2	土地利用区分	65			
3	作付方式	65			
4	生産計画	65			
5	労働改善計画	66			
6	級地別土地利用区分	66			
7	土地配分計画	66			
第3節	用水計画	66			
第4節	排水計画	66			
第5節	道路計画	66			
第6節	農用地造成計画	66			
第7節	洪水調整計画	66			

【 農業用排水施設（排水） 】

第1章	目 的	71	第8節	干拓計画	77
第2章	地域及び地積	71	第9節	農用地整備計画	77
第1節	地 域	71	第10節	老朽ため池改修計画	77
第2節	地 積	71	第5章	主要工事計画	78
第3章	現 況	71	第1節	用水施設	78
第1節	気 象	71	第2節	排水施設	78
第2節	土地状況	72	第3節	道路及び索道	78
1	地形、土壌及び浸食の程度	72	第4節	農用地造成	78
2	土地分類	73	第5節	洪水調整施設	78
3	土地利用の状況	73	第6節	干拓施設	78
4	土地所有の状況	73	第7節	農用地整備施設	78
第3節	水利状況	74	第8節	老朽ため池改修施設	78
第4節	道路概況	74	第6章	付帯工事計画	79
第5節	地域農業の概況	74	第7章	工事の着手及び完了の予定時期	79
第6節	地域環境の概況	74	第8章	環境との調和への配慮	79
第4章	一般計画	74	第9章	換地計画の概要	79
第1節	事業計画の要旨	74	第10章	事業費の総額及び内訳	80
1	要 旨	74	第11章	効 用	81
2	事業別面積	75	第12章	関連する事業	82
第2節	営農計画及び土地利用計画	75	第13章	現況・計画平面図	82
1	営農計画の概要	75			
2	土地利用区分	75			
3	作付方式	75			
4	生産計画	76			
5	労働改善計画	76			
6	級地別土地利用区分	76			
7	土地配分計画	76			
第3節	用水計画	77			
第4節	排水計画	77			
第5節	道路計画	77			
第6節	農用地造成計画	77			
第7節	洪水調整計画	77			

【 農地保全 】

第1章	目 的	83	第8節	干拓計画	88
第2章	地域及び地積	83	第9節	農用地整備計画	88
第1節	地 域	83	1	区画整理	88
第2節	地 積	83	2	暗渠排水	88
第3章	現 況	83	3	客 土	88
第1節	気 象	83	4	農地保全	88
第2節	土地状況	84	第10節	老朽ため池改修計画	89
1	地形、土壌及び浸食の程度	84	第5章	主要工事計画	89
2	土地分類	85	第1節	用水施設	89
3	土地利用の状況	85	第2節	排水施設	89
4	土地所有の状況	85	第3節	道路及び索道	89
第3節	水利状況	85	第4節	農用地造成	89
第4節	道路概況	85	第5節	洪水調整施設	89
第5節	地域農業の概況	86	第6節	干拓施設	89
第6節	地域環境の概況	86	第7節	農用地整備施設	89
第4章	一般計画	86	1	区画整理	89
第1節	事業計画の要旨	86	2	暗渠排水	89
1	要 旨	86	3	客 土	89
2	事業別面積	86	4	除 礫	90
第2節	営農計画及び土地利用計画	86	5	農地保全	90
1	営農計画の概要	86	第8節	老朽ため池改修施設	90
2	土地利用区分	87	第6章	付帯工事計画	90
3	作付方式	87	第7章	工事の着手及び完了の予定時期	90
4	生産計画	87	第8章	環境との調和への配慮	91
5	労働改善計画	87	第9章	換地計画の概要	91
6	級地別土地利用区分	87	第10章	事業費の総額及び内訳	91
7	土地配分計画	88	第11章	効 用	92
第3節	用水計画	88	第12章	関連する事業	93
第4節	排水計画	88	第13章	現況・計画平面図	93
第5節	道路計画	88			
第6節	農用地造成計画	88			
第7節	洪水調整計画	88			

【 暗渠排水 】

第1章	目 的	94	第8節	干拓計画	99
第2章	地域及び地積	94	第9節	農用地整備計画	99
第1節	地 域	94	1	区画整理	99
第2節	地 積	94	2	暗渠排水	99
第3章	現 況	94	3	客 土	99
第1節	気 象	94	4	農地保全	99
第2節	土地状況	95	第10節	老朽ため池改修計画	99
1	地形、土壤及び浸食の程度	95	第5章	主要工事計画	100
2	土地分類	95	第1節	用水施設	100
3	土地利用の状況	96	第2節	排水施設	100
4	土地所有の状況	96	第3節	道路及び索道	100
第3節	水利状況	96	第4節	農用地造成	100
第4節	道路概況	96	第5節	洪水調整施設	100
第5節	地域農業の概況	96	第6節	干拓施設	100
第6節	地域環境の概況	96	第7節	農用地整備施設	101
第4章	一般計画	97	1	区画整理	101
第1節	事業計画の要旨	97	2	暗渠排水	101
1	要 旨	97	3	客 土	101
2	事業別面積	97	4	除 礫	101
第2節	営農計画及び土地利用計画	97	5	農地保全	101
1	営農計画の概要	97	第8節	老朽ため池改修施設	101
2	土地利用区分	97	第6章	付帯工事計画	101
3	作付方式	98	第7章	工事の着手及び完了の予定時期	102
4	生産計画	98	第8章	環境との調和への配慮	102
5	労働改善計画	98	第9章	換地計画の概要	102
6	級地別土地利用区分	98	第10章	事業費の総額及び内訳	103
7	土地配分計画	98	第11章	効 用	104
第3節	用水計画	99	第12章	関連する事業	104
第4節	排水計画	99	第13章	現況・計画平面図	104
第5節	道路計画	99			
第6節	農用地造成計画	99			
第7節	洪水調整計画	99			

【 区画整理 】

第1章	目 的	105	第8節	干拓計画	110
第2章	地域及び地積	105	第9節	農用地整備計画	110
第1節	地 域	105	1	区画整理	110
第2節	地 積	105	2	暗渠排水	110
第3章	現 況	105	3	客 土	110
第1節	気 象	105	4	農地保全	110
第2節	土地状況	106	第10節	老朽ため池改修計画	110
1	地形、土壌及び浸食の程度	106	第5章	主要工事計画	111
2	土地分類	106	第1節	用水施設	111
3	土地利用の状況	107	第2節	排水施設	111
4	土地所有の状況	107	第3節	道路及び索道	111
第3節	水利状況	107	第4節	農用地造成	111
第4節	道路概況	107	第5節	洪水調整施設	111
第5節	地域農業の概況	107	第6節	干拓施設	111
第6節	地域環境の概況	107	第7節	農用地整備施設	112
第4章	一般計画	108	1	区画整理	112
第1節	事業計画の要旨	108	2	暗渠排水	112
1	要 旨	108	3	客 土	112
2	事業別面積	108	4	除 礫	112
第2節	営農計画及び土地利用計画	108	5	農地保全	112
1	営農計画の概要	108	第8節	老朽ため池改修施設	112
2	土地利用区分	108	第6章	付帯工事計画	112
3	作付方式	109	第7章	工事の着手及び完了の予定時期	113
4	生産計画	109	第8章	環境との調和への配慮	113
5	労働改善計画	109	第9章	換地計画の概要	113
6	級地別土地利用区分	109	第10章	事業費の総額及び内訳	114
7	土地配分計画	109	第11章	効 用	115
第3節	用水計画	110	第12章	関連する事業	115
第4節	排水計画	110	第13章	現況・計画平面図	115
第5節	道路計画	110			
第6節	農用地造成計画	110			
第7節	洪水調整計画	110			

【 全 体 】

第1章 目 的

本地区は豊田市の中心部より東におよそ20km離れている。旧下山村地域の内、花沢町、蕪木町、下山田代町、田折町、蘭町、黒坂町の6町から構成されている水田地帯である。

本地区は、昭和40年から平成12年にかけての県営ほ場整備及びその他ほ場整備等により面整備が行われてきたが、完了後20～50年程度が経過し開水路は老朽化及び不等沈下による流水阻害や断面不足を起こし、日々の水管理に多大な労力を費やしている。

また、一部農地においては排水不良のため農地が湿田化している上、山間地で急勾配のため農地法面の崩れ等の問題が起こっている。

本事業は、これら老朽化した施設の整備を行い、農作業及び維持管理の省力化を図るとともに、優良農地の保全を促進することにより、農家の高齢化・兼業化の進む中、農作業の放棄による農地の荒廃を防ぐことを目的とする。

第2章 地域及び地積

第1節 地 域

(第1表)

事 業 名		地 域
農地環境整備事業		愛知県豊田市 花沢町、蕪木町、下山田代町、田折町、蘭町、黒坂町
(参考)	農業用排水施設（用水）	愛知県豊田市 花沢町、蕪木町、下山田代町、田折町、蘭町、黒坂町
	農業用排水施設（排水）	愛知県豊田市 花沢町、蕪木町、下山田代町、田折町、蘭町、黒坂町
	農 地 保 全	愛知県豊田市 花沢町、下山田代町、蘭町、黒坂町
	暗 渠 排 水	愛知県豊田市 花沢町、下山田代町、黒坂町
	区 画 整 理	愛知県豊田市 黒坂町

第2節 地 積

(平成30)(12)
(令和7年4月現在)

(第2表)

事業名	現況地目		田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
	市町村名								
農業用排水施設 (用水)	豊田市		(65.3) 59.2	(7.3) 6.9	—	—	—	(72.6) 66.1	登記簿地積より
農業用排水施設 (排水)	豊田市		(50.5) 45.6	(4.7) 4.2	—	—	—	(55.2) 49.8	〃
農 地 保 全	豊田市		(2.1) 2.9	0.4	—	—	—	(2.5) 3.3	〃
暗 渠 排 水	豊田市		(4.0) 4.3	—	—	—	—	(4.0) 4.3	〃
区 画 整 理	豊田市		0.4	—	—	—	—	0.4	〃
合 計			(69.5) 63.1	(8.6) 8.2	—	—	—	(78.1) 71.3	〃

第3章 現 況

第1節 気 象

1 一般気象

(変更前)

(第3表-1)

観測所名	豊田観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	昭和56年～平成29年	4月～9月	10月～3月		
平均気温 (℃)		21.6	8.2	16.1	
降水量	平均(mm)	974	460	1,423	
	基準年(mm)	—	—	—	
降水日数	平均(日)	64	43	108	
	基準年(日)	—	—	—	
根雪期間		一月一日	～ 一月一日	(一日間)	
無霜期間		一月一日	～ 一月一日	(一日間)	
最多風向		北東	最大風速	12.0 m/s	最多風向発生時期 通年
			(風向)	(不明)	最大風速発生年月日 平成2年9月20日

(気象庁 各種データ・資料 豊田観測所)

(変更後)

(第3表-1)

観測所名	豊田観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	平成3年～令和2年	4月～9月	10月～3月		
平均気温 (℃)		22.0	8.6	15.3	
降水量	平均(mm)	968	503	1,470	
	基準年(mm)	—	—	—	
降水日数	平均(日)	63	44	107	
	基準年(日)	—	—	—	
根 雪 期 間		一月一日 ～ 一月一日		(一日間)	
無 霜 期 間		一月一日 ～ 一月一日		(一日間)	
最 多 風 向		北東	最大風速	12.0 m/s	最多風向発生時期 通年
			(風 向)	(南)	最大風速発生年月日 平成2年9月20日

(気象庁 各種データ・資料 豊田観測所)

2 特殊気象

(変更前)

(第3表-2)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
	豊田観測所															
観測期間	数	年月日	発生確率	数	年月日	発生確率	数	年月日	発生確率	数	年月日	発生確率	数	年月日	発生確率	
昭和56年～平成29年	量			量			量			量			量			
最大日雨量 (mm)	217.0	平成12.9.11	/	196.0	平成12.9.12	/	184.0	平成1.9.3	/	175.0	昭和58.9.28	/	141.0	平成3.9.19	/	
最大時間雨量 (mm)	63.5	平成29.8.11	/	61.0	平成12.9.11	/	58.0	昭和58.9.28	/	56.5	平成24.8.11	/	56.0	平成12.9.12	/	
最大4時間雨量 (mm)	—	—	/	—	—	/	—	—	/	—	—	/	—	—	/	
最大連続雨量 (mm)	410.0	平成12.9.11 ～9.12	/	231.0	昭和58.9.26 ～9.28	/	197.0	平成1.9.1 ～9.4	/	189.0	平成11.6.29 ～6.30	/	175.0	昭和57.9.11 ～9.12	/	
最大連続干天日数 (日)	55	平成7.11.21 ～平成8.1.14	/	47	平成23.12.3 ～平成24.1.18	/	44	昭和63.11.25 ～昭和64.1.7	/	44	平成10.12.6 ～平成11.1.18	/	43	平成11.11.25 ～平成12.1.18	/	

(気象庁 各種データ・資料 豊田観測所)

(変更後)

(第3表-2)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
豊田観測所																
観測期間	数	年月日	発生確率	数	年月日	発生確率	数	年月日	発生確率	数	年月日	発生確率	数	年月日	発生確率	
昭和51年～令和6年	量			量			量			量			量			
最大日雨量 (mm)	217.0	平成12.9.11	1/81	196.0	平成12.9.12	1/46	188.5	令和5.6.2	1/37	184.0	平成1.9.3	1/33	175.0	昭和58.9.28	1/25	
最大時間雨量 (mm)	63.5	平成29.8.11	1/32	61.0	平成12.9.11	1/25	59.0	平成1.9.20	1/13	58.0	昭和58.9.28	1/19	56.5	平成24.8.11	1/16	
最大4時間雨量 (mm)	194.0	H12.9.11 22:00～	1/1000 以下	116.0	S54.9.24 20:00～	1/35	106.0	H12.6.24 23:00～	1/21	103.0	R5.6.2 9:00～	1/18	98.0	H11.6.29 22:00～	1/13	
最大連続雨量 (mm)	413.0	平成12.9.11 ～9.12	1/255	297.0	平成1.9.1 ～9.6	1/20	290.0	昭和54.6.27 ～7.3	1/17	274.0	令和6.8.23 ～9.3	1/12	244.0	昭和58.9.24 ～9.28	1/7	
最大連続干天日数 (日)	41	平成10.12.9 ～1.18	1/53	40	昭和61.1.5 ～2.13	1/46	38	平成7.7.23 ～8.29	1/34	36	平成9.10.8 ～11.12	1/26	35	平成7.11.24 ～12.28	1/22	

(気象庁 各種データ・資料 豊田観測所)

第2節 土地状況

1 地形、土壌及び浸食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地 目 傾斜区分	田						畑 ・ その他							受益地標高(m)		備考	
		1/1,000 以下	1/1,000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 ～ 以上	計	3° 以下	3° ～ 8°	8°～15°			15° ～ 20°	20° 以上	計	最高		最低
										8° ～10°	10° ～12°	12° ～15°						
農業用 用排水 施設 (用水)	面積 (ha)	—	(65.3) 59.2	—	—	—	(65.3) 59.2	(7.3) 6.9	—	—	—	—	—	—	(7.3) 6.9	501	300	
	比率 (%)	—	100	—	—	—	100	100	—	—	—	—	—	—	100	—	—	
農業用 用排水 施設 (排水)	面積 (ha)	—	(50.5) 45.6	—	—	—	(50.5) 45.6	(4.7) 4.2	—	—	—	—	—	—	(4.7) 4.2	490	300	
	比率 (%)	—	100	—	—	—	100	100	—	—	—	—	—	—	100	—	—	
農地 保全	面積 (ha)	—	(2.1) 2.9	—	—	—	(2.1) 2.9	0.4	—	—	—	—	—	—	0.4	501	301	
	比率 (%)	—	100	—	—	—	100	100	—	—	—	—	—	—	100	—	—	
暗渠 排水	面積 (ha)	—	(4.0) 4.3	—	—	—	(4.0) 4.3	—	—	—	—	—	—	—	—	478	348	
	比率 (%)	—	100	—	—	—	100	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
区画 整理	面積 (ha)	—	0.4	—	—	—	0.4	—	—	—	—	—	—	—	—	482	481	
	比率 (%)	—	100	—	—	—	100	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
合計	面積 (ha)	—	(69.5) 63.1	—	—	—	(69.5) 63.1	(8.6) 8.2	—	—	—	—	—	—	(8.6) 8.2	501	300	
	比率 (%)	—	100	—	—	—	100	100	—	—	—	—	—	—	100	—	—	

(第4表-1-2)

項目 土壤統 (区)名	土壤統(区)区分一覧表								面積(ha)						備考		
	土壤断面							堆積 様式	母 材	事業名							
	色	腐植	礫層	酸化 沈殿物	土性					泥炭層 黒泥層 グライ層	(排農 用水業 施用 設定)	(排農 水業 施用 設定)	農地 保全	暗渠 排水		区画 整理	計
					表土	下層土											
一層	二層	三層															
寺津統 D34	青灰色	なし	なし	糸根、膜、管状 あり～富む	壤質	壤～ 粘質	壤～ 粘質	作土直 下から グライ	水積	非固結水成岩	([5.7]) [5.3] (7.1) 6.2	([5.5]) [5.5] (5.9) 6.4	([0.2]) [0.1] (0.3) 0.6	([0.6]) [1.7] (0.6) 1.8	-	(7.7) 7.4	水田
平岩統 I83	灰/ 黄褐色	なし	なし	糸根、膜、管状 あり～富む	壤質	壤～ 粘質	壤～ 粘質	なし	水積 残積	非固結水成岩 固結火成岩	([3.9]) [0.6] (5.8) 2.4	([3.8]) [0.6] (4.5) 0.6	([0.2]) [-] (0.2) -	-	-	(6.5) 2.4	水田
上細池統 F54	灰色	なし	なし	糸根、膜、管状 なし～含む	砂～ 壤質	砂質	砂質	なし	水積	非固結水成岩	([21.6]) [21.8] (30.6) 30.2	([21.6]) [21.8] (23.6) 23.8	([1.4]) [1.2] (1.4) 1.2	([2.0]) [1.7] (2.4) 2.0	-	(32.9) 32.5	水田
針曾根統 F52	灰色	なし	なし	糸根、膜、管状 あり～富む	壤質	壤～ 粘質	壤～ 粘質	なし	水積	非固結水成岩	([10.7]) [9.1] (13.8) 12.4	([10.7]) [9.1] (11.2) 9.6	-	[0.3]	-	(14.4) 12.9	水田
大塚統 G62	灰褐色	なし	なし	糸根、膜、管状 あり～富む	壤質	壤質	壤質	なし	洪積	非固結水成岩	([5.6]) [5.7] 8.0	([5.3]) [5.2] (5.3) 5.2	([0.2]) [1.1] (0.2) 1.1	([0.7]) [0.2] (0.7) 0.2	0.4	8.0	水田
柏原統	黄褐色	なし	なし	なし	壤～ 粘質	壤～ 強粘質	壤～ 強粘質	なし	残積	固結火成岩	([3.3]) [2.9] (5.0) 4.5	([3.1]) [2.7] (3.5) 3.1	[0.2]	-	-	(5.4) 4.9	畑
高雄統	黒色	なし	なし	なし	壤～ 粘質	壤～ 強粘質	壤～ 強粘質	なし	洪積	非固結水成岩	([0.7]) [0.9] 2.5	([0.5]) [1.3] (1.3) 1.2	[0.2]	-	-	3.2	畑
計											(72.6) 66.1	(55.2) 49.8	(2.5) 3.3	(4.0) 4.3	0.4	(78.1) 71.3	

[]内は重複分

2 土地分類

該当なし

3 土地利用の状況

(平成30)(12)

(令和7年4月現在)

(第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						山 林		採 草 放 牧 地 (ha)	そ の 他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 地 (ha)	果 樹 園 (ha)	茶 園 (ha)	樹 園 其 他 の 地 (ha)	用 材 林 (ha)	薪 炭 林 (ha)				
農業用排水施設 (用水)	豊田市	([47.5]) [42.5] (65.3) 59.2	([3.9]) [3.5] (7.1) 6.8	—	[0.1] (0.2) 0.1	—	—	—	—	—	—	([51.5]) [46.1] (72.6) 66.1	登記簿地積より
農業用排水施設 (排水)	豊田市	([46.9]) [42.2] (50.5) 45.6	([3.6]) [3.1] (4.6) 4.1	—	[0.1] 0.1	—	—	—	—	—	—	([50.6]) [45.4] (55.2) 49.8	〃
農地保全	豊田市	([2.1]) [2.8] (2.1) 2.9	[0.4] 0.4	—	—	—	—	—	—	—	—	([2.5]) [3.2] (2.5) 3.3	〃
暗渠排水	豊田市	([3.5]) [3.9] (4.0) 4.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	([3.5]) [3.9] (4.0) 4.3	〃
区画整理	豊田市	[0.4] 0.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	[0.4] 0.4	〃
合計		([47.5]) [42.7] (69.5) 63.1	([3.9]) [3.5] (8.4) 8.0	—	[0.1] 0.2	—	—	—	—	—	—	([51.5]) [46.3] (78.1) 71.3	〃

[]内は重複分

4 土地所有の状況

(平成30)(12)

(令和7年4月現在)

(第4表-4)

事業名	所有別		個人有地等	国有地	県有地	市有地	改良区有地	計	備考
	区分								
農業用排水施設(用水)	面積 (ha)	([51.5]) [46.1] (72.6) 66.1	—	—	—	—	—	([51.5]) [46.1] (72.6) 66.1	
	受益者数 (人)	([181]) [159] (220) 203	—	—	—	—	—	([181]) [159] (220) 203	
	筆数 (筆)	([504]) [397] (709) 586	—	—	—	—	—	([504]) [397] (709) 586	
	権利関係	—	—	—	—	—	—	—	
	備考(関係戸数)	([173]) [156] (211) 199	—	—	—	—	—	([173]) [156] (211) 199	
農業用排水施設(排水)	面積 (ha)	([50.6]) [45.4] (55.2) 49.8	—	—	—	—	—	([50.6]) [45.4] (55.2) 49.8	
	受益者数 (人)	([176]) [153] (183) 161	—	—	—	—	—	([176]) [153] (183) 161	
	筆数 (筆)	([495]) [392] (543) 406	—	—	—	—	—	([495]) [392] (543) 406	
	権利関係	—	—	—	—	—	—	—	
	備考(関係戸数)	([168]) [150] (175) 158	—	—	—	—	—	([168]) [150] (175) 158	

(平成30)(12)
(令和7年4月現在)

(第4表-4)

農地 保全	面積 (ha)	([2.5] [3.2] (2.5) 3.3	—	—	—	—	([2.5] [3.2] (2.5) 3.3	
	受益者数 (人)	([18] [20] (18) 20	—	—	—	—	([18] [20] (18) 20	
	筆数 (筆)	[25] (25) 26	—	—	—	—	[25] (25) 26	
	権利関係	—	—	—	—	—	—	
	備考(関係戸数)	([18] [20] (18) 20	—	—	—	—	([18] [20] (18) 20	
暗渠 排水	面積 (ha)	([3.5] [3.9] (4.0) 4.3	—	—	—	—	([3.5] [3.9] (4.0) 4.3	
	受益者数 (人)	([20] [22] (20) 22	—	—	—	—	([20] [22] (20) 22	
	筆数 (筆)	([23] [24] 29	—	—	—	—	([23] [24] 29	
	権利関係	—	—	—	—	—	—	
	備考(関係戸数)	([20] [22] (20) 22	—	—	—	—	[22] (20) 22	

事業名	所有別		個人有地等	国有地	県有地	市有地	改良区有地	計	備 考
	区分								
区画整理	面積 (ha)	[0.4] 0.4	—	—	—	—	—	[0.4] 0.4	
	受益者数 (人)	[2] 2	—	—	—	—	—	[2] 2	
	筆数 (筆)	[2] 2	—	—	—	—	—	[2] 2	
	権利関係	—	—	—	—	—	—	—	
	備考(関係戸数)	[2] 2	—	—	—	—	—	[2] 2	
合計	面積 (ha)	([51.5]) [46.3] (78.1) 71.3	—	—	—	—	—	([51.5]) [46.3] (78.1) 71.3	
	受益者数 (人)	([181]) [156] (227) 209	—	—	—	—	—	([181]) [156] (227) 209	
	筆数 (筆)	([504]) [400] (764) 639	—	—	—	—	—	([504]) [400] (764) 639	
	権利関係	—	—	—	—	—	—	—	
	備考(関係戸数)	([173]) [150] (218) 200	—	—	—	—	—	([173]) [150] (218) 200	

[]内は重複分

第3節 水利状況

1 用水状況

用水は、各集落を流れる1級河川、普通河川、溪流から取水しており、開水路（BF及びU型水路等）により各ほ場に配水されている。ほ場整備による水路も多く残っており、老朽化による漏水・破損等が著しく、日々の管理に多大の労力を費やしている。

(1) 用水系統

(次頁 現況用水系統図参照)

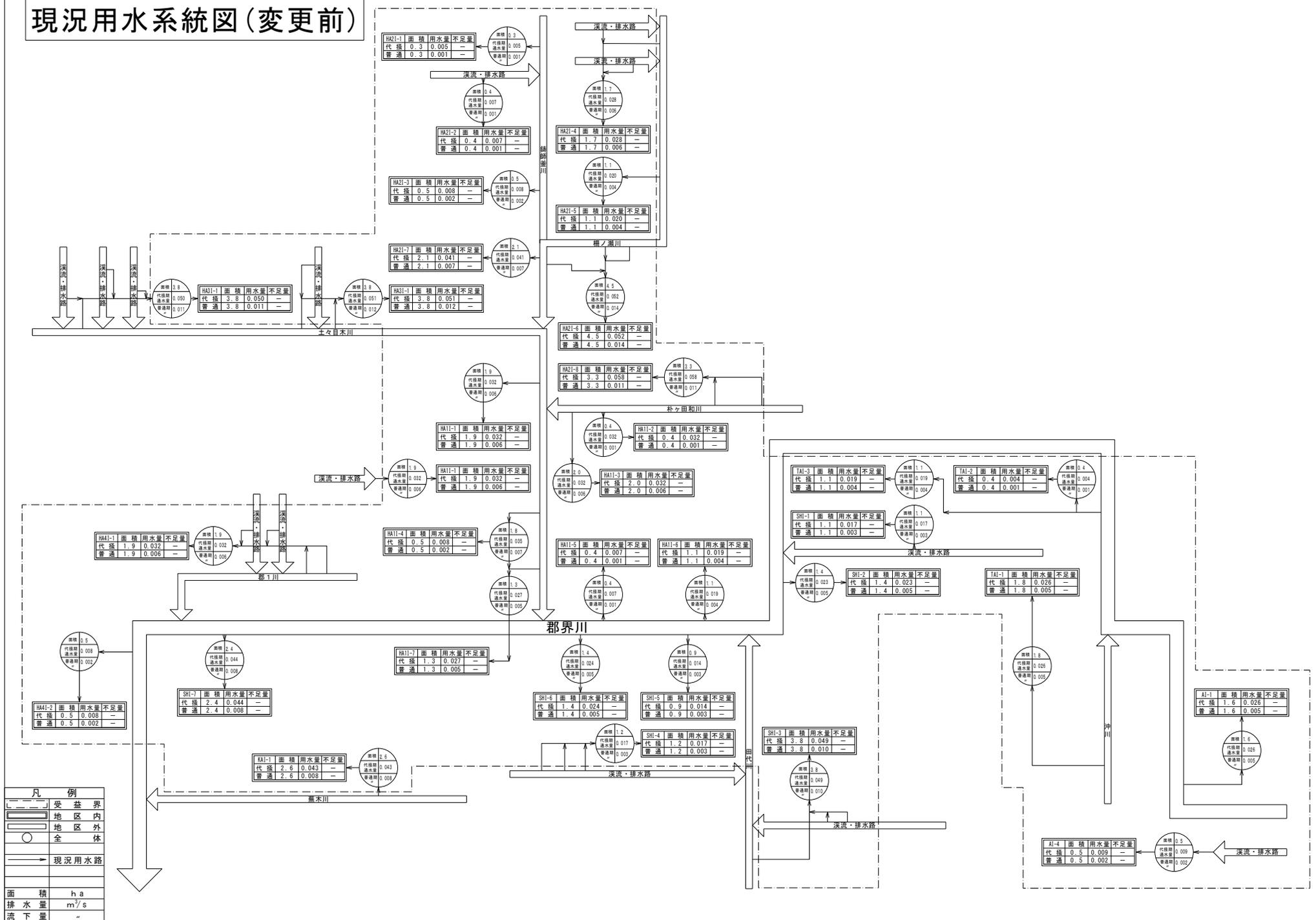
(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

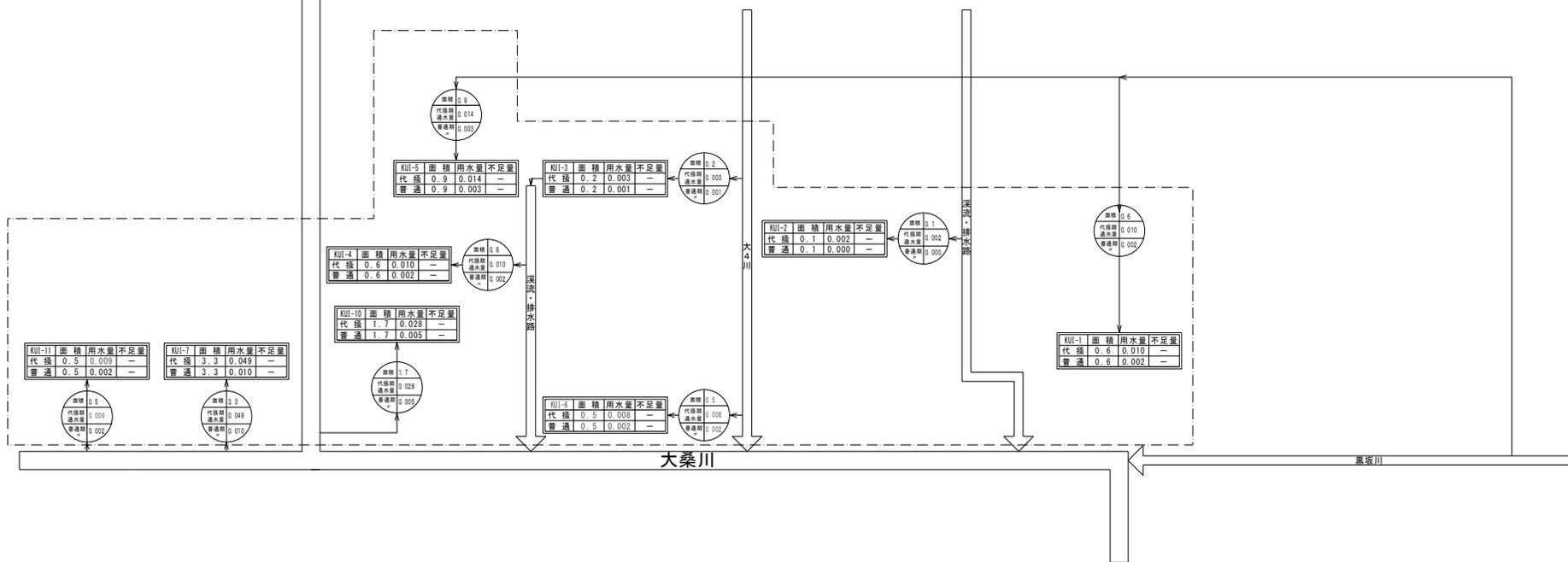
事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延べ取水量		備考
		500ha以上		100～500ha		100ha未満		箇所	ha	箇所	m ³ /s	箇所	m ³ /s	箇所	m ³ /s	
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha									
農業用排水施設 (用水)	貯水池	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	井堰	—	—	—	—	(14)	(21.9)	(14)	(21.9)	—	—	—	—	(14)	(0.366)	
	自然取入口	—	—	—	—	(54)	(50.9)	(54)	(50.9)	—	—	—	—	(54)	(0.669)	
	揚水機	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	小計	—	—	—	—	(68)	(72.8)	(68)	(72.8)	—	—	—	—	(68)	(1.035)	
		—	—	—	—	60	66.1	60	66.1	—	—	—	—	60	0.895	

現況用水系統図(変更前)



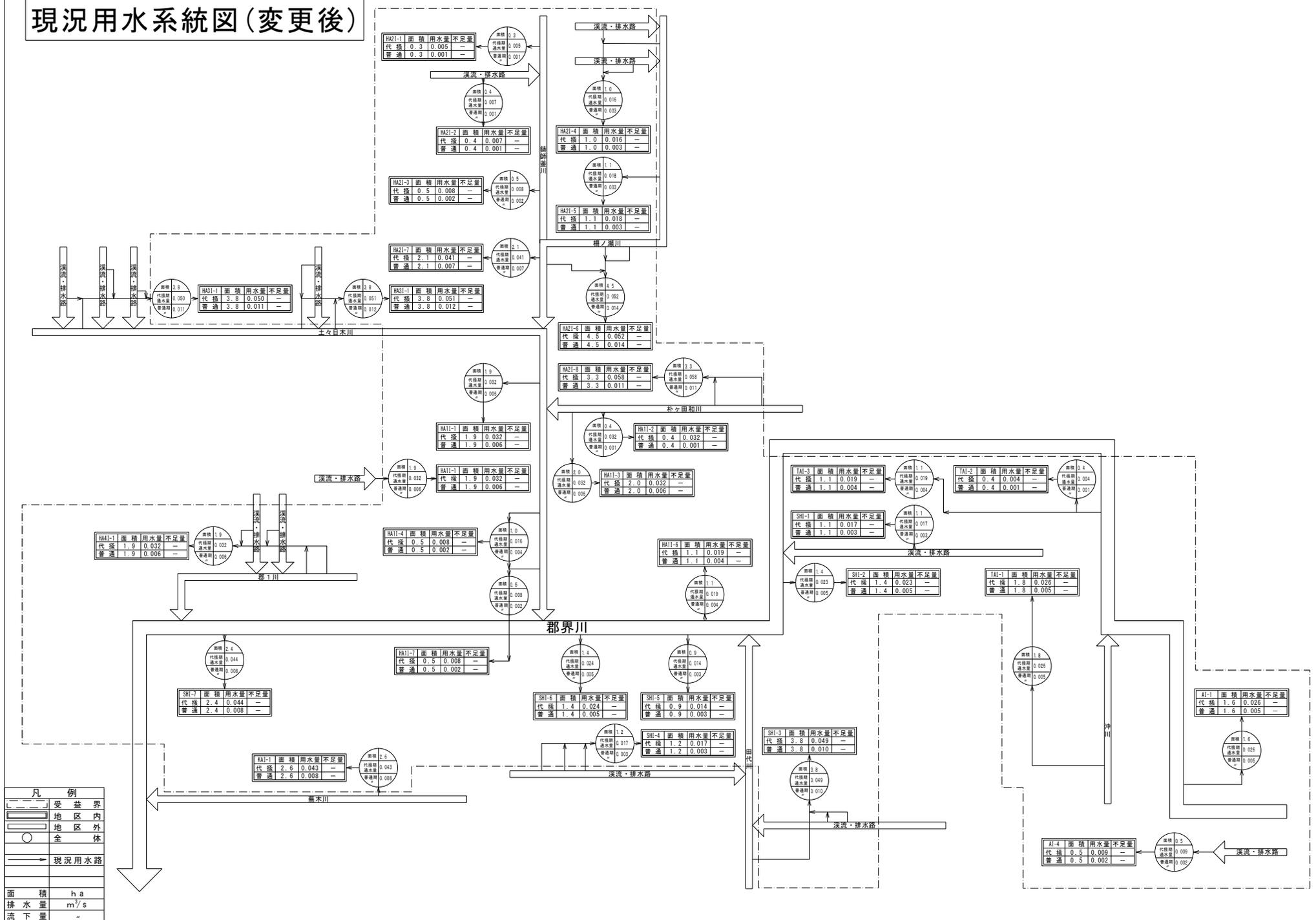
凡 例	
—	受益界
—	地区内
—	地区外
○	全
→	現況用水路
面積	ha
排水量	m ³ /s
流量	m ³ /s

現況用水系統図(変更前)

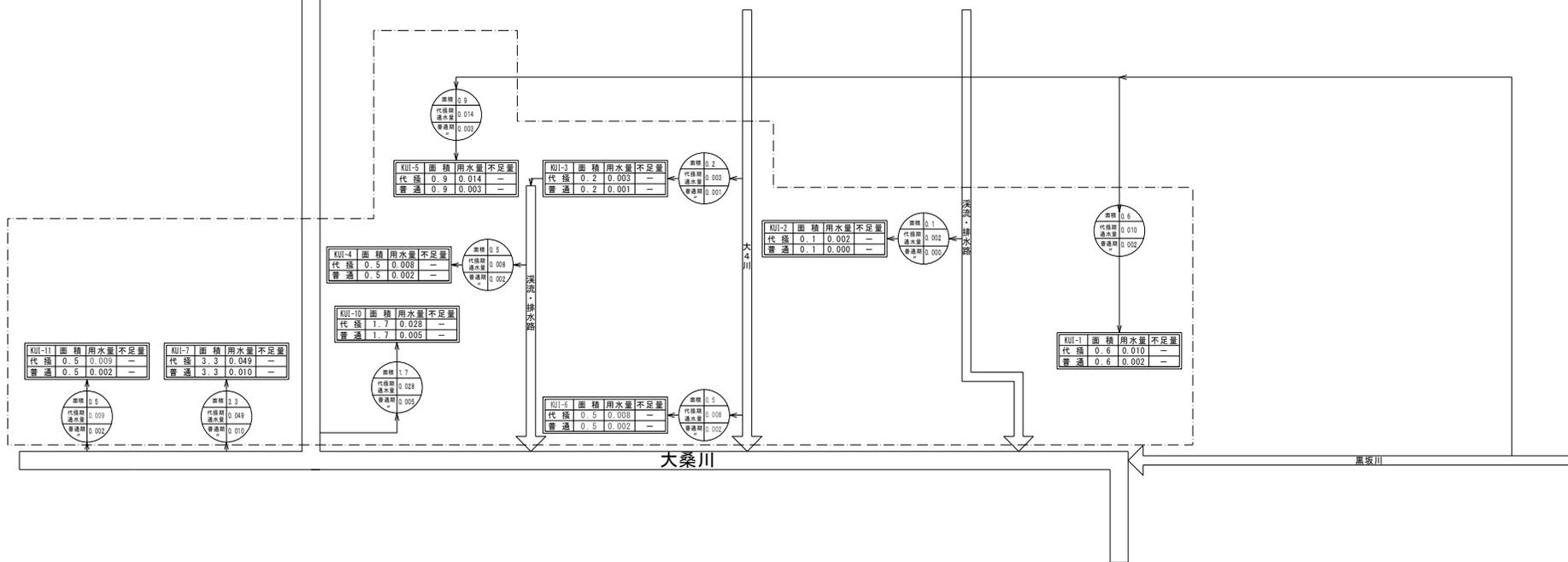


凡例	
—	受益界
—	地区内
—	地区外
○	全体
→	現況用水路
面積	ha
排水量	m ³ /s
流下量	—

現況用水系統図(変更後)



現況用水系統図(変更後)



凡例	
—	受益界
—	地区内
—	地区外
○	全体
→	現況用水路
面積	h a
排水量	m ³ /s
流下量	—

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
農業用排水施設 (用水)	貯水池	—	—	—	—	—	—	
	井堰	(14) 13	(21.9) 21.5	現場打コンクリート造	—	—	老朽化	
	自然取入口	(54) 47	(50.9) 44.6	アームコゲート等	—	—	老朽化	
	揚水機	—	—	—	—	—	—	
	用水路	1	(72.6) 66.1	BF・U字溝等	BF250～400 U300	昭和40年～平成12年	老朽化	
	その他	—	—	—	—	—	—	
	計		([51.5]) [46.1] (72.6) 66.1					

[]内は重複分

(3) 用水に関する被害状況

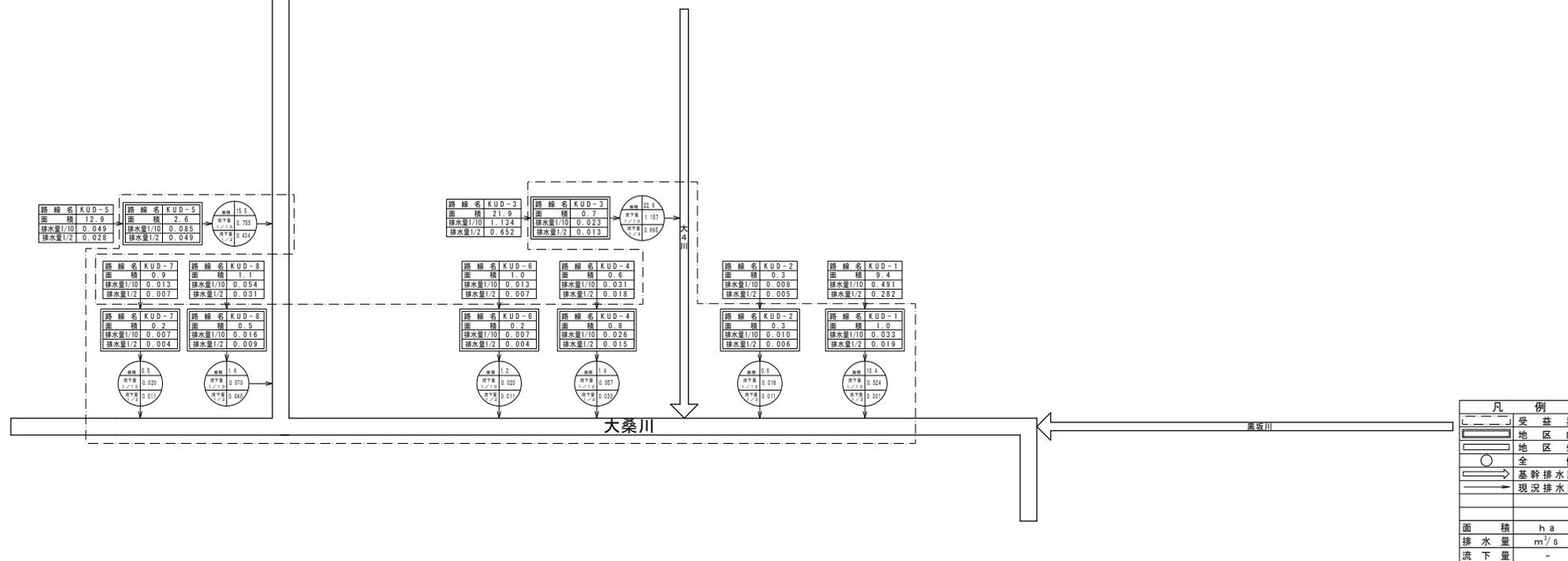
(ア) 用水不足による被害状況
該当なし(イ) その他の被害状況
該当なし(4) ため池決壊の場合の想定被害状況
該当なし

2 排水状況

排水は、施工後20～50年程度経過しており、老朽化や不等沈下により断面不足、流水阻害のため、農地が湿田化し維持管理にも多大な労力を費やしている。大雨による洗掘が激しく、水路路面の崩落等による農地の流出も懸念されている。

(1) 排水系統 (次頁 現況排水系統図参照)

現況排水系統図(変更前)



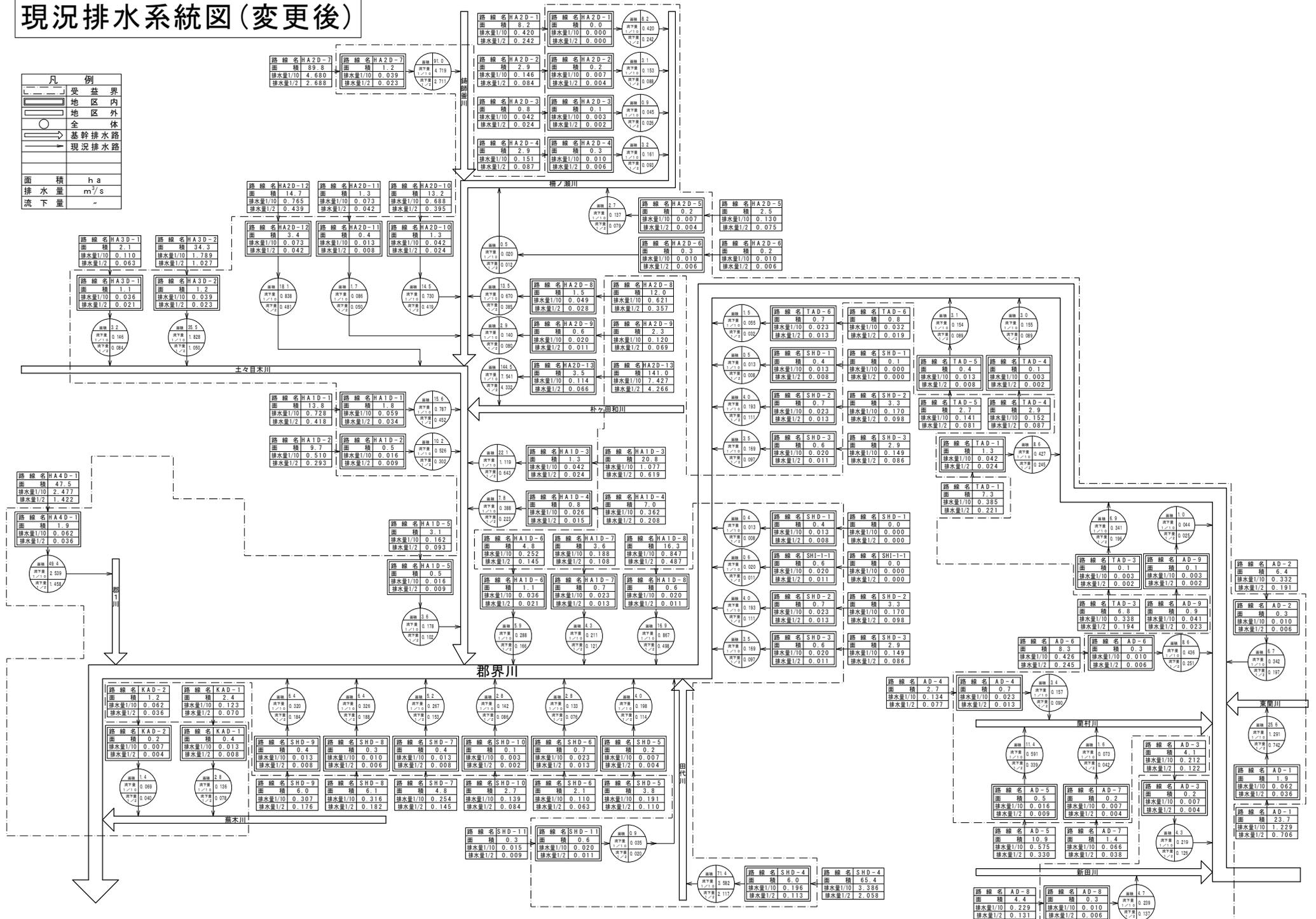
凡例	
	受益界
	地区内
	地区外
	全体
	基幹排水路
	現況排水路
面積	h a
排水量	m ³ /s
流量	"

現況排水系統図(変更後)

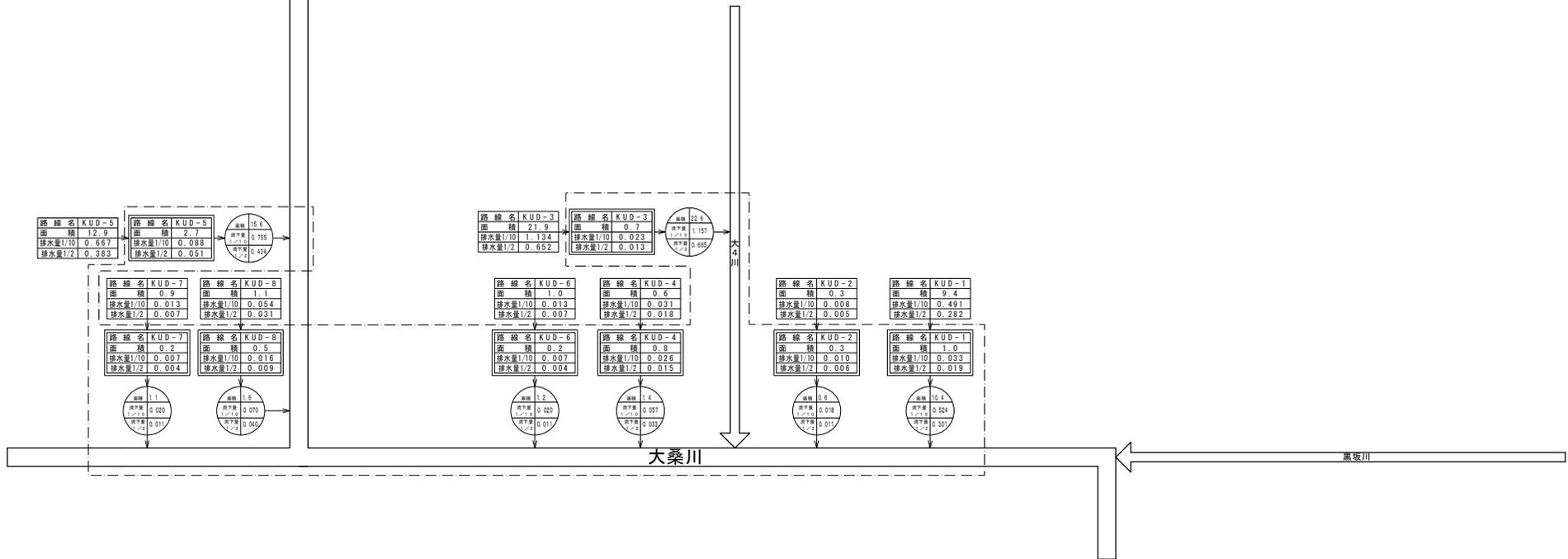
凡例

- 受 益 界
- 地 区 内
- 地 区 外
- 全 体
- 基 幹 排 水 路
- 現 況 排 水 路

面積 ha
排水量 m³/s
流下量 "



現況排水系統図(変更後)



凡例	
	受益境界
	地区内
	地区外
	全
	基幹排水路
	現況排水路
面積	h a
排水量	m ³ /s
流量	"

(2) 排水施設
 (ア) 排水方法一覧表

事業名	項目 施設名		排 水 面 積						計		排水慣行 (m ³ /s)	現況排水能力 (m ³ /s)	備 考
			500ha以上		500～100ha		100ha未満		箇所	ha			
			箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha					
農業用排水施設 (排水)	自然	排水路	—	—	—	—	1	([50.6]) [49.8] (818.3) 728.6	1	([50.6]) [49.8] (818.3) 728.6	—	—	
		水 門	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	機械	排水機	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		水門及び排水機	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		排水路及び排水機	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	計		—	—	—	—	1	([50.6]) [49.8] (818.3) 728.6	1	([50.6]) [49.8] (818.3) 728.6	—	—	

[]は地区内分

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-5)

事業名	項目		施設名又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模 (mm)	新設年又は 更新年	改修を必要 とする理由	備考
	施設名								
農業用排水施設 (排水)	自然	排水路	支線排水路	(55.2) 49.8	組立水路	H400×B400～ H1200×B3500 他	昭和40年～ 平成12年	老朽化 能力不足	
		水門	—	—	—	—	—	—	
	機械	排水機	—	—	—	—	—	—	
		水門及び排水機	—	—	—	—	—	—	
		排水路及び排水機	—	—	—	—	—	—	
	合計		—	(55.2) 49.8	—	—	—	—	

(3) 排水に関する被害状況
該当なし

3 河川状況
該当なし

第4節 道路概況

該当なし

第5節 地域農業の概況

1 産業別就業人口

(第7表-1)

項目 市町村名	総 数 (人)	農 業 (人)	林 業 (人)	漁 業 (人)	鉱 業 (人)	建 設 業 (人)	製 造 業 (人)	電 気 給 水 道 熱 業 (人)	運 輸 通 信 業 (人)	卸 飲 小 食 売 業 店 (人)	保 金 融 業 (人)	学 教 習 支 援 業 育 (人)	福 医 社 療 (人)	公 務 (人)	そ の 他 (人)	備 考
豊田市	(212,535) 209,375	(3,740) 3,249	(203) 199	(18) 23	(65) 44	(10,627) 9,915	(85,340) 82,430	(497) 490	(11,248) 12,076	(21,932) 22,675	(2,591) 2,433	(7,340) 8,085	(16,936) 18,833	(3,654) 3,459	(48,344) 45,464	
比率(%)	100	(1.8) 1.6	0.1	0.0	0.0	(5.0) 4.7	(40.2) 39.3	0.2	(5.3) 5.8	(10.3) 10.8	1.2	(3.5) 3.9	(8.0) 9.0	1.7	(22.7) 21.7	

((出典:第64次 東海農林水産統計年報))

(出典: R2年度国勢調査)

2 経営耕地広狭別農家数及び主副業別農家数

(第7表-2)

区分 市町村名	農家総戸数 (経営体)	経営耕地広狭別農家数(経営体)										自給的農家	1経営体当たり平均農用地面積(ha)						主副業別農家数(経営体)			備考
		0.3 ha 未満	0.3 ～ 0.5 ha	0.5 ～ 1.0 ha	1.0 ～ 1.5 ha	1.5 ～ 2.0 ha	2.0 ～ 3.0 ha	3.0 ～ 5.0 ha	5.0 ～ 10.0 ha	10.0 ～ 20.0 ha	20.0 ha 以上		田	畑	樹園地	小計	草地	計	主業農家	準主業農家	副業的農家	
		ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha											
豊田市	(2,652) 1,994	(39) 83	(886) 693	(1,101) 794	(317) 201	(105) 72	(76) 64	(43) 40	(30) 20	(10) 11	(14) 16	(31) -	(1.10) 1.53	(0.22) 0.31	(0.53) 0.57	(1.85) 2.41	- -	(1.85) 2.41	(203) 183	(434) 240	(1,944) 1,521	
比率(%)	100	(1.5) 4.2	(33.4) 34.8	(41.5) 39.8	(11.9) 10.0	(4.0) 3.6	(2.9) 3.2	(1.6) 2.0	(1.1) 1.0	(0.4) 0.6	(0.5) 0.8	(1.2) -	(59.5) 63.5	(11.9) 12.9	(28.6) 23.6	- -	- -	(100.0) 100.0	(7.7) 9.2	(16.4) 12.0	(73.3) 76.3	

((出典:2015年世界農林業センサス))

(出典:2020年農林業センサス)

3 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表-3)

目 市町村名	動力農機具						主要家畜								備考
	動力田植機		トラクター		コンバイン		乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏		
	数量 (台)	経営 体数 (経営体)	数量 (台)	経営 体数 (経営体)	数量 (台)	経営 体数 (経営体)	数量 (頭)	戸数 (経営体)	数量 (頭)	戸数 (経営体)	数量 (頭)	戸数 (経営体)	数量 (100羽)	戸数 (経営体)	
豊田市	(1,891) -	(1,825) -	(2,533) -	(2,140) -	(1,584) -	(1,486) -	(1,551) 775	(17) 11	X	(31) 25	(6,440) X	(3) 2	(1,898) 658	(14) 8	
100(経営体)当り数量 (台、頭、100羽)	(104) -	(118) -	(107) -	(9,124) 7,045	-	-	(214,667) -	(13,557) 8,225							
利用経営体数の割合(%)	(71) -	(96) -	(60) -	-	-	-	-								

((出典:2015年世界農林業センサス))

(出典:2020年農林業センサス)

「-」は、事実のないもの。

「X」は、秘密保護上統計数値が公表されていないもの。

4 主要作物作付状況

(第7表-4)

市町村名	豊田市		備考
総耕地面積 (ha)	(3,381)	作付割合 (%)	
作物名 / 区分	作付面積 (ha)	(%)	(2015) 2020農林業センサス 作付面積は、経営耕地面積のうち 販売目的作付け（栽培）した作物 の類別作付（栽培）面積である。 「X」は、秘密保護上統計数値が 公表されていないもの。 「-」は、事実のないもの。
水稲	1,436 X	(51.9) -	
麦類	(619) 825	(22.4) 58.6	
雑穀	(5) 6	0.4	
いも類	(5) 8	(0.2) 0.6	
豆類	333	(12.0) 23.7	
工芸作物	(69) X	(2.5) -	
野菜類	(118) X	(4.3) -	
果樹類	(131) 154	(4.7) 10.9	
花き類・花木	(35) 24	(1.3) 1.7	
その他の作物	(14) 58	(0.5) 4.1	
計	2,765 3,129	100	

5 農業の動向

(第7表-5)

項目 区分	農家			土地			主要作物			主要家畜			動力農機具			地域指定等	備考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農機具名	B	A		
変化の状況（C年を100とする指数）	総農家数	(85) 78	(66) 59	耕地	(96) 85	(92) 84	水稻	(99) 83	(93) 88	乳用牛	(45) 108	(90) 54	動力田植機	(107) 73	(63) -	農業振興地域指定 昭和45年度 野菜指定産地 はくさい 昭和54年度 特定野菜等供給産地 夏秋なす 昭和55年度	農家、耕地・田畑・水稻・大豆 A…(64次) 2020年 B…(59次) 2015年 C…(54次) 2010年
	主業農家数	(101) 68	(68) 61	田	(97) 88	(94) 88	麦 (小麦)	(87) 78	(131) 104	肉用牛	(83) X	X X	トラクター	(67) 77	(67) -	果樹広域濃密生産団地 なし・もも・かき くり・ぶどう いちじく 平成18年度	樹園地、家畜農機具 A…(2015) 2020年 B…(2010) 2015年 C…(2005) 2010年
	準主業農家数	(92) 61	(56) 34	普通畑	(93) 75	(87) 71	大豆	(143) 114	(164) 114	豚	(23) 148	(48) X	コンバイン	(80) 74	(61) -	酪農・肉用牛 生産近代化計画 平成27年度	×：統計数値が公表されていないために指数が求められないもの -：事実のないもの
	副業的農家数	(81) 85	(69) 66	樹園地	(97) 81	(96) 69	いも類	(69) 50	(53) 90	採卵鶏	(63) 70	(64) 24					
	農業従事者数	(33) -	(60) -														
変化の理由	高齢化に伴う離農等により、減少傾向にある。			総農家数の減少に伴い、耕地面積も減少傾向にある。			転作割合が変化するために、年度により作物の差が生じる。			畜産経営を取り巻く社会的状況は厳しく減少傾向にある。			農林業センサス2020にて統計データが無いため“-”と記載する。				

((出典:愛知県農林水産統計年報 第54・59・64次 農林業センサス2015年農林業, 2010年世界農林業, 2005年農林業))

(出典:2010年, 2015年, 2020年農林業センサス他)

第6節 地域環境の概況

豊田市における環境に配慮すべき項目は次のとおりである。

1 特に配慮すべき生物環境（植物、植生、動物）

山地、丘陵地、低地など多様な地形と河川により様々な動植物が生息しており、「松平神社(東照宮)のシイ林」、「八柱神社のツブラジイ林」、「猿投山の常緑針葉樹林」、「段戸裏谷原生」をはじめ12群落が特定植物群落に指定されている。市の代表的な絶滅の恐れがある種のウシモツゴ、カワバタモロコ、シデコブシ、ギフチョウをはじめ、愛知県版レッドデータブック記載種の絶滅3種、絶滅危惧IA類14種、絶滅危惧IB類28種、絶滅危惧II類57種、準絶滅危惧85種が確認されている。

2 特に配慮すべき生物以外のもの（景観・文化財他）

東部に広がる西三河丘陵や三河山地、矢作川などの雄大な自然景観が見られるほか、矢作緑地、枝下緑道などの市街地に見られる水と緑が一体となった公園緑地景観、低地に展開する広大な田園景観、里山に囲まれた農山村の景観など、豊かな景観が形成されている。

また、矢作川をはじめ奥矢作湖や三河湖といった川や湖、王滝溪谷・香嵐溪の紅葉、小原の四季桜、藤岡のふじの回廊に代表される花木など多様な自然環境に恵まれている。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1 要旨

本地区は豊田市の中心部より東におよそ20km離れている。旧下山村地域の内、花沢町、蕪木町、下山田代町、田折町、蘭町、黒坂町の6町から構成されている水田地帯である。

本地区は、昭和40年から平成12年にかけての県営ほ場整備及びその他ほ場整備等により面整備が行われてきたが、完了後20～50年程度が経過し開水路は老朽化及び不等沈下による流水阻害や断面不足を起し、日々の水管理に多大な労力を費やしている。

また、一部農地においては排水不良のため農地が湿田化している上、山間地で急勾配のため農地法面の崩れ等の問題が起こっている。

本事業は、これら老朽化した施設の整備を行い、農作業及び維持管理の省力化を図るとともに、優良農地の保全を促進することにより、農家の高齢化・兼業化の進む中、農作業の放棄による農地の荒廃を防ぐことを目的とする。

2 事業別面積

(第8表)

事業名 土地 利用区分	農業用排水施設 (用水)				農業用排水施設 (排水)				農地保全				暗渠排水				区画整理				計	備考
	水田	普通畑	果樹園	小計	水田	普通畑	果樹園	小計	水田	普通畑	果樹園	小計	水田	普通畑	果樹園	小計	水田	普通畑	果樹園	小計		
	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		
農業用排水施設 (用水)	(47.5) [42.5] (65.3) 59.2	(3.9) [3.5] (7.1) 6.8	[0.1] [46.1] (0.2) 0.1	(51.5) [46.1] (72.6) 66.1																	(51.5) [46.1] (72.6) 66.1	登記簿地積による
農業用排水施設 (排水)					(46.9) [42.2] (50.5) 45.6	(3.6) [3.1] (4.6) 4.1	[0.1] [45.4] (55.2) 0.1	(50.6) [49.8] (55.2) 49.8													(50.6) [45.4] (55.2) 49.8	登記簿地積による
農地保全									(2.1) [2.8] (2.1) 2.9	[0.4] [3.2] (2.5) 0.4	— [3.2] (2.5) 3.3										(2.5) [3.2] (2.5) 3.3	登記簿地積による
暗渠排水													(3.5) [3.9] (4.0) 4.3	— [3.9] (4.0) 4.3	— [3.9] (4.0) 4.3						(0.4) [3.9] (4.0) 4.3	登記簿地積による
区画整理																[0.4] 0.4	— —	— —	[0.4] 0.4	[0.4] 0.4	[0.4] 0.4	登記簿地積による
計	(47.5) [42.5] (65.3) 59.2	(3.9) [3.5] (7.1) 6.8	[0.1] [46.1] (0.2) 0.1	(51.5) [46.1] (72.6) 66.1	(46.9) [42.2] (50.5) 45.6	(3.6) [3.1] (4.6) 4.1	[0.1] [45.4] (55.2) 0.1	(50.6) [49.8] (55.2) 49.8	(2.1) [2.8] (2.1) 2.9	[0.4] [3.2] (2.5) 0.4	— [3.2] (2.5) 3.3		(3.5) [3.9] (4.0) 4.3	— [3.9] (4.0) 4.3	— [3.9] (4.0) 4.3	[0.4] 0.4	— —	— —	[0.4] 0.4	[0.4] 0.4	(51.5) [46.3] (78.1) 71.3	登記簿地積による

[]内は重複分

第2節 営農計画及び土地利用計画

1 営農計画の概要

各種事業を行うことにより、維持管理費の軽減及び維持管理の省力化を図り、農作物の増収を図る。また、遊休農地の解消を図り、農業経営の安定と地域農業の発展、向上を図る。

2 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分	水田	普通畑	牧草地	果樹園	茶園	その他	小計	原野	山林	その他	計	備考
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農業用排水施設(用水)	現況	(147.3) [42.3] (65.0) 59.2	(3.9) [3.5] (7.2) 6.9	-	[0.1] (0.2) 0.1	-	-	(151.3) [45.9] (72.4) 66.2	-	-	-	(151.3) [45.9] (72.4) 66.2	
	計画	(147.5) [42.5] (65.3) 59.2	(3.9) [3.5] (7.1) 6.8	-	[0.1] (0.2) 0.1	-	-	(151.5) [46.1] (72.6) 66.1	-	-	-	(151.5) [46.1] (72.6) 66.1	
農業用排水施設(排水)	現況	(146.7) [42.1] (50.3) 45.6	(3.5) [3.1] (4.7) 4.2	-	[0.1] 0.1	-	-	(150.3) [45.3] (55.1) 49.9	-	-	-	(150.3) [45.3] (55.1) 49.9	
	計画	(146.9) [42.2] (50.5) 45.6	(3.6) [3.1] (4.7) 4.2	-	[0.1] 0.1	-	-	(150.6) [45.4] (55.3) 49.9	-	-	-	(150.6) [45.4] (55.3) 49.9	
農地保全	現況	(2.1) [2.8] (2.1) 2.9	[0.4] 0.4	-	-	-	-	(2.5) [3.2] (2.5) 3.3	-	-	-	(2.5) [3.2] (2.5) 3.3	
	計画	(2.1) [2.8] (2.1) 2.9	[0.4] 0.4	-	-	-	-	(2.5) [3.2] (2.5) 3.3	-	-	-	(2.5) [3.2] (2.5) 3.3	
暗渠排水	現況	(3.5) [3.9] (4.0) 4.3	-	-	-	-	-	(3.5) [3.9] (4.0) 4.3	-	-	-	(3.5) [3.9] (4.0) 4.3	
	計画	(3.5) [3.9] (4.0) 4.3	-	-	-	-	-	(3.5) [3.9] (4.0) 4.3	-	-	-	(3.5) [3.9] (4.0) 4.3	
区画整理	現況	[0.4] 0.4	-	-	-	-	-	[0.4] 0.4	-	-	-	[0.4] 0.4	
	計画	[0.4] 0.4	-	-	-	-	-	[0.4] 0.4	-	-	-	[0.4] 0.4	
計	現況	(147.3) (42.6) (69.2) 63.0	(3.9) [3.5] (8.4) 8.0	-	(10.1) [0.1] (0.2) 0.2	-	-	(151.3) [46.2] (77.8) 71.2	-	-	-	(151.3) [46.2] (77.8) 71.2	
	計画	(147.5) [42.7] (69.5) 63.1	(3.9) [3.5] (8.4) 8.0	-	(10.1) [0.1] (0.2) 0.2	-	-	(151.5) [46.3] (78.1) 71.3	-	-	-	(151.5) [46.3] (78.1) 71.3	

[]内は重複分

4 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目 土地利用区分		作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当り収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備考	
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当り収量増加		
農業用排水施設 (用水)	水田	表作	水稻	(59.8) 54.4	(60.1) 54.5	(0.3) 0.1	(89.3) 88.5	(89.2) 88.5	(505.0) 488.0	(505.0) 488.0	—	(302.0) 265.3	(303.4) 265.8	(1.4) 0.5	—	—		
	普通畑	表作	ナス	1.2 3.4	1.2 3.4	— —	(1.8) 5.4	(1.8) 5.5	(2829.0) 5,148.0	(2829.0) 5148.0	—	(33.9) 61.8	(33.9) 61.8	—	—	—		
			サトイモ	(3.6) 3.4	(3.7) 3.4	(0.1) —	(5.4) 5.5	(5.5) 5.5	(992.0) 1,297.0	(992.0) 1297.0	—	(35.7) 44.1	(36.7) 44.1	(1.0) —	—	—		
			小菊	2.0	2.0	—	(3.0) 3.3	(3.0) 3.3	(36.0) 35.0	(36.0) 35.0	—	0.7	0.7	—	—	—		
			シクラメン	0.3	0.3	—	(0.4) 0.5	(0.4) 0.5	10.0	10.0	—	0.0	0.0	—	—	—		
	樹園地	表作	柿	0.1	0.1	—	(0.1) 0.2	(0.1) 0.2	(1283.0) 1,141.0	(1283.0) 1141.0	—	(1.3) 1.1	(1.3) 1.1	—	—	—		
	計			(〔67.0〕 〔71.2〕 (67.0) 61.4	(〔67.4〕 〔71.3〕 (67.4) 61.5	(0.4) 0.1	100.0	100.0				(373.6) 373.0	(376.0) 373.5	(2.4) 0.5	—	—		
	農業用排水施設 (排水)	水田	表作	水稻	(46.3) 41.9	(46.5) 42.0	(0.2) 0.1	(90.8) 90.5	(90.8) 90.5	(505.0) 488.0	(505.0) 488.0	—	(233.7) 204.3	(234.6) 204.7	(0.9) 0.4	—	—	
		普通畑	表作	ナス	(1.1) 1.0	(1.1) 1.0	— —	2.1 4.1	2.1 4.1	(2829.0) 5,148.0	(2829.0) 5148.0	—	(31.1) 51.5	(31.1) 51.5	—	—	—	
				サトイモ	(2.2) 1.9	(2.2) 1.9	— —	(4.3) 4.1	(4.3) 4.1	(992.0) 1,297.0	(992.0) 1297.0	—	(21.8) 24.6	(21.8) 24.6	—	—	—	
小菊				(0.7) 0.6	(0.7) 0.6	— —	(1.4) 1.3	(1.4) 1.3	(36.0) 35.0	(36.0) 35.0	—	(0.3) 0.2	(0.3) 0.2	—	—	—		
シクラメン				(0.6) 0.8	(0.6) 0.8	— —	(1.2) 1.8	(1.2) 1.8	10.0	10.0	—	0.1	0.1	—	—	—		
樹園地		表作	柿	0.1	0.1	—	0.2	0.2	(1283.0) 1,141.0	(1283.0) 1141.0	—	(1.3) 1.1	(1.3) 1.1	—	—	—		
計			(〔51.0〕 〔49.8〕 (51.0) 46.3	(〔51.2〕 〔49.9〕 (51.2) 46.4	(0.2) 0.1	100.0	100.0				(288.3) 281.8	(289.2) 282.2	(0.9) 0.4	—	—			

本地率：(田) 92% (施設畑) 75%
(畑・樹園地) 100%

* 作付面積欄の計で[]内は実面積、外は延作付面積。
作付面積は、受益面積に本地率をかけたものである。

(第9表-3)

事業名	項目 土地利用区分		作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当り収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の 内訳 (t)		備考
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積 増減	単位面積 当り収量 増加	
農地保全	水田	表作	水稻	(1.9) 2.7	(1.9) 2.7	—	(82.8) 87.0	(82.8) 87.0	(505.0) 488.0	(505.0) 488.0	—	(9.8) 13.0	(9.8) 13.0	—	—	—	
	普通畑	表作	サトイモ	0.2	0.2	—	(0.0) 6.5	(0.0) 6.5	(992.0) 1,297.0	(992.0) 1297.0	—	(0.0) 2.6	(0.0) 2.6	—	—	—	
			小菊	0.2	0.2	—	(0.0) 6.5	(0.0) 6.5	(36.0) 35.0	(36.0) 35.0	—	0.1 0.1	0.1 0.1	—	—	—	
	計			([2.3]) [3.3] (2.3) 3.1	([2.3]) [3.3] (2.3) 3.1	—						(9.9) 15.7	(9.9) 15.7	—	—	—	
暗渠排水	水田	表作	水稻	(3.7) 4.0	(3.7) 4.0	—			(505.0) 488.0	(505.0) 488.0	—	(18.6) 19.3	(18.6) 19.3	—	—	—	
	計			([3.7]) [4.3] (3.7) 4.0	([3.7]) [4.3] (3.7) 4.0	—						(18.6) 19.3	(18.6) 19.3	—	—	—	
区画整理	水田	表作	水稻	0.4	0.4	—	100.0	100.0	(505.0) 488.0	(505.0) 488.0	—	(1.9) 1.8	(1.9) 1.8	—	—	—	
	計			[0.4] 0.4	[0.4] 0.4	—	100.0	100.0				(1.9) 1.8	(1.9) 1.8	—	—	—	
合計				([72.3]) [71.2] (72.3) 65.7	([72.3]) [71.3] (72.3) 65.8	(-) 0.1	100.0	100.0				(401.8) 432.6	(401.8) 432.6	—	—	—	

本地率：(田) 92%
(畑・樹園地) 100%

* 作付面積欄の計で[]内は実面積、外は延作付面積。
作付面積は、受益面積に本地率をかけたものである。

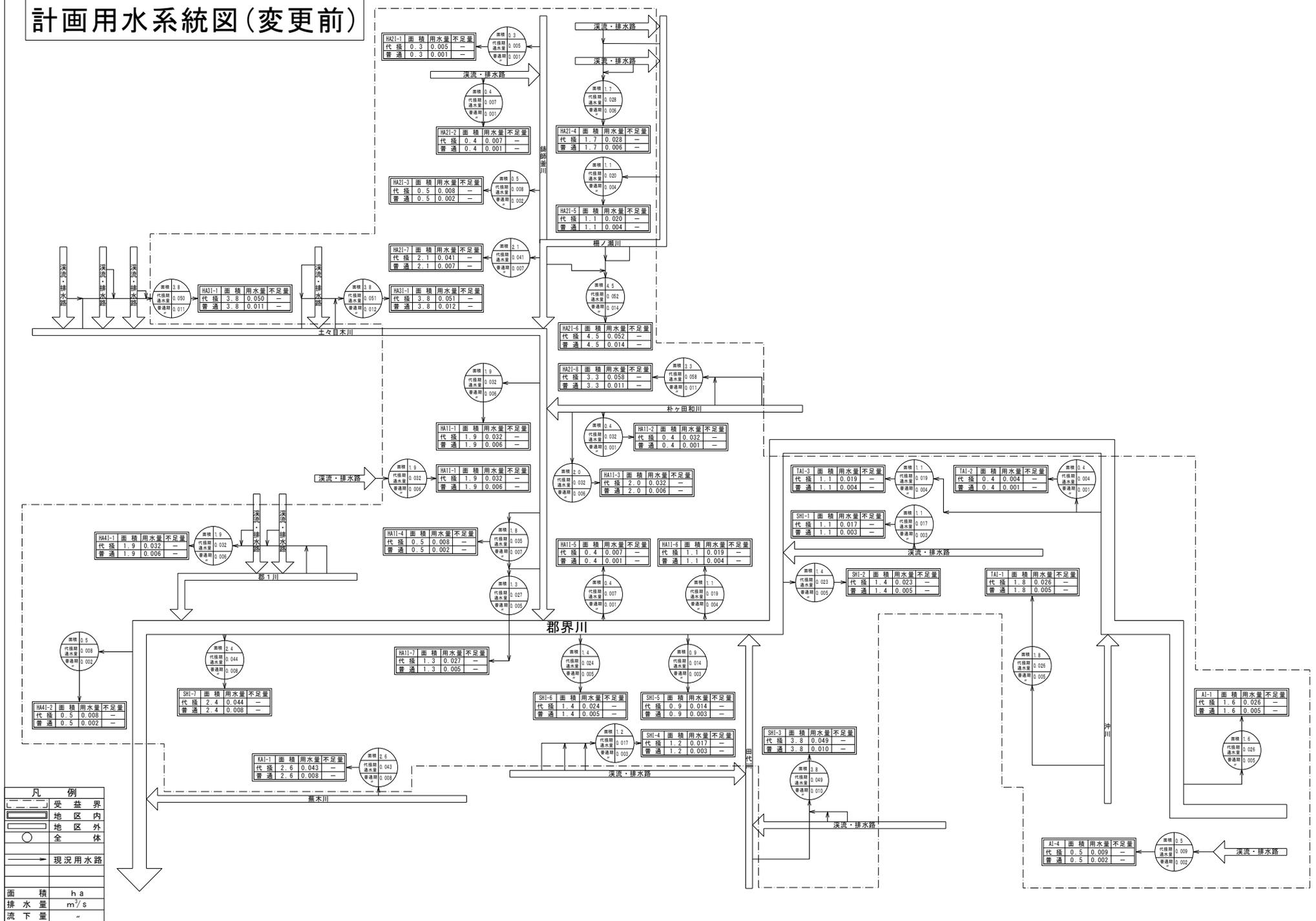
- 5 労働改善計画
 該当なし
- 6 級地別土地利用区分
 該当なし
- 7 土地配分計画
 該当なし

第3節 用水計画

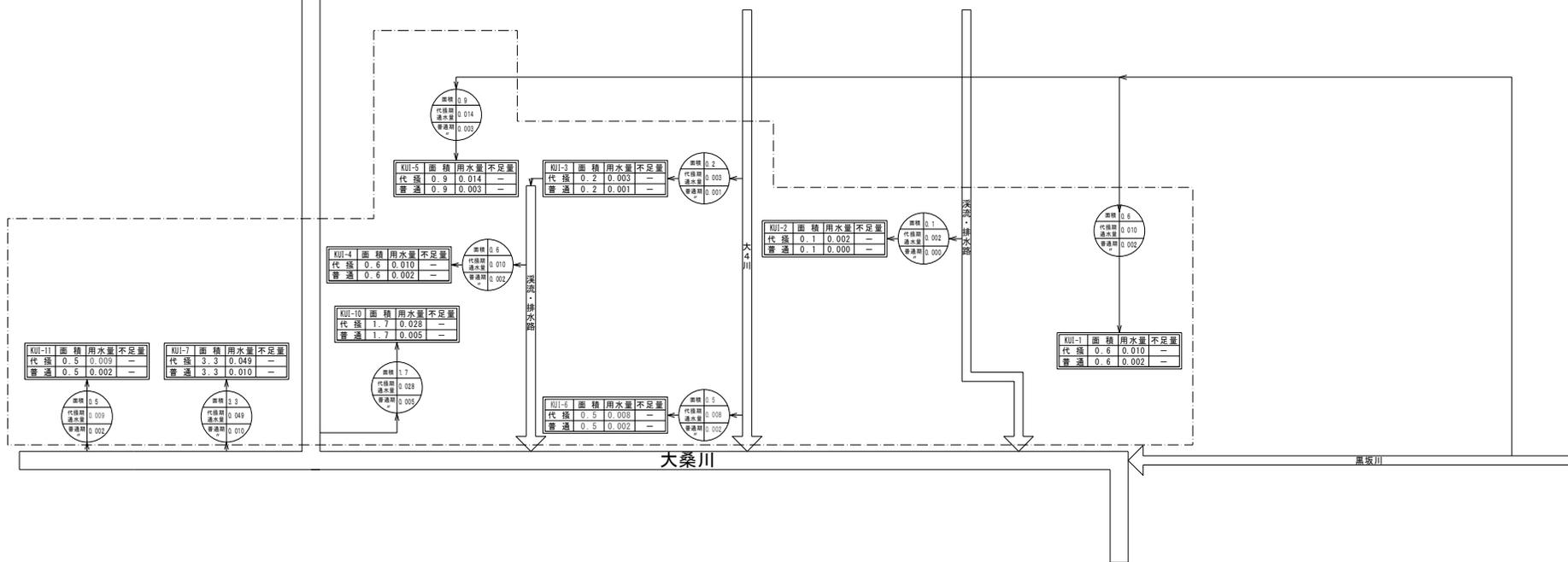
- 1 計画基準年
 昭和24年 県営ほ場整備事業 下山西部地区（国営矢作川総合農業水利事業 北部地区 参考）による。
- 2 計画かんがい方式
 かんがい方式
 水田 開水路による貯留かんがい方式

 かんがい期間
 水田（早期） 5月1日～ 7月31日 82日間（代掻期 5月1日～5月10日 10日間）
- 3 計画用水系統
 （次頁 計画用水系統図参照）

計画用水系統図(変更前)

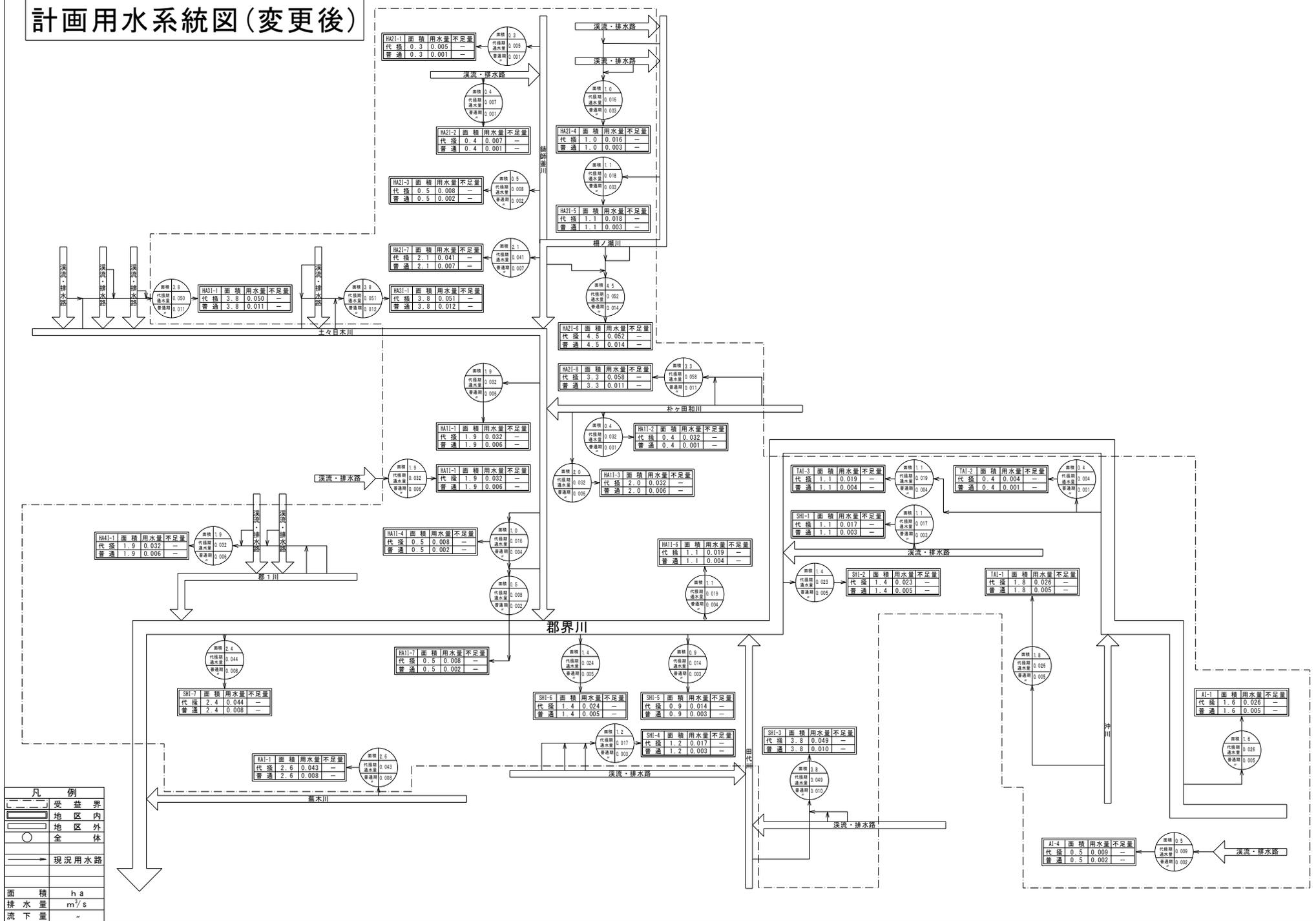


計画用水系統図(変更前)

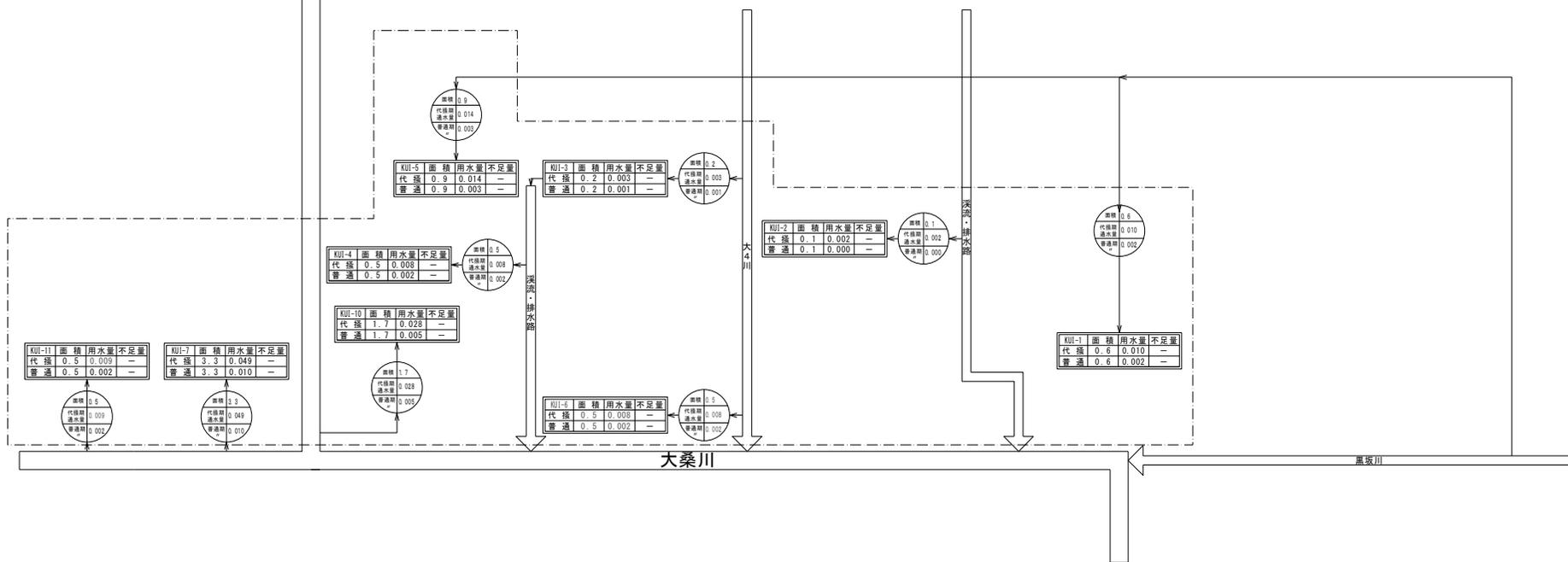


凡例	
	受益界
	地区内
	地区外
	全体
	現況用水路
面積	ha
排水量	m ³ /s
流量	—

計画用水系統図(変更後)



計画用水系統図(変更後)



凡例	
	受益界
	地区内
	地区外
	全体
	現況用水路
面積	ha
排水量	m³/s
流下量	"

4 計画用水量
(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項目 系統名	種別	面積(ha)		水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費水量 (m ³ /s)	損失率 (%)	粗用水量		備考	
		事業名		普通期	代掻期	面積 (ha)	1日当り計画 平均かん水深 (mm/日)	平均 間断日数 (日)	面積 (ha)	1日当り計画 平均かん水深 (mm/日)	平均 間断日数 (日)	面積 (ha)	計画 平均 単位 用水量 (mm/日)	面積 (ha)			平均 単位 用水量 (mm/日)	平		最
		農業(用水排水)	計	計画	計画															
				平均 単位 用水量 (mm/日)	平均 単位 用水量 (mm/日)															
下山	農業用水	(72.6)	(72.6)			(72.6)								(0.880)		(0.237)	(1.035)			
		66.1	66.1	15.9	120	66.1	—	—	—	—	—	—	—	—	0.761	15	0.195	0.895		

(2) 営農飲雑用水
該当なし

5 水源計画
(1) 水利用計画

(第10表-2)

項目 区分	消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量			不足量		水源依存量		水源 工種	備考
					水源名	取水地点 利用可能量	ほ場利用 可能量	純不足水量	全不足水量	水源名	水量		
						e (千m ³)	f (千m ³)	g=c-f (千m ³)	h=d-e (千m ³)		(千m ³)		
農業用排水(用水)	(1129.0)	(200.7)	(928.3)	(1092.1)		(1328.2)	(1188.4)				(1328.2)		損失率: α
	1026.3	182.6	843.7	992.6	溪流・河川	1207.4	1080.3	—	—	溪流・河川	1207.4	既設利用	α=0.15

(2) 用水対策
 (ア) 貯水池
 該当なし

(イ) 井堰及び自然取入口

(第10表-4)

取水施設	項目	河川名	流域面積 (km ²)	かんがい面積(ha)		所要水量		渇水量 (m ³ /s)	備考
				事業名		最大	平均		
				農業用 用排水施設 (用水)	計	(m ³ /s)	(m ³ /s)		
下山地区全域		一級河川・普通河川・溪流	—	(72.6) 66.1	(72.6) 66.1	(1.035) 0.895	(0.237) 0.195	—	

(ウ) 揚水機
 該当なし

(エ) 用水路

(第10表-6)

名称	項目	かんがい面積(ha)		最大通水量 (m ³ /s)	延長 (km)	構造	備考
		事業名					
		農業用排水施設 (用水)	計				
開水路・管水路		(72.6) 66.1	(72.6) 66.1	(0.058) 0.049	(18.1) 16.4	開水路…BF、U字溝 管水路…HP、VU	BF200～400 U180～400等

(オ) その他の水源施設
 該当なし

(3) 水質水温
 該当なし

第4節 排水計画

1 計画基準雨量

日雨量 230.2mm/日 (1/10年確率) 大沼観測所 (1898年～1977年) 及び阿蔵観測所 (2007年～2017年) の既往120年間の観測記録から岩井法により確率雨量を求める。
(1905年・1920年・1921年・1950年・1956年・1978年～2006年は欠測)
R24 = 230.2mm/日 R4 = 94.0mm/4hr

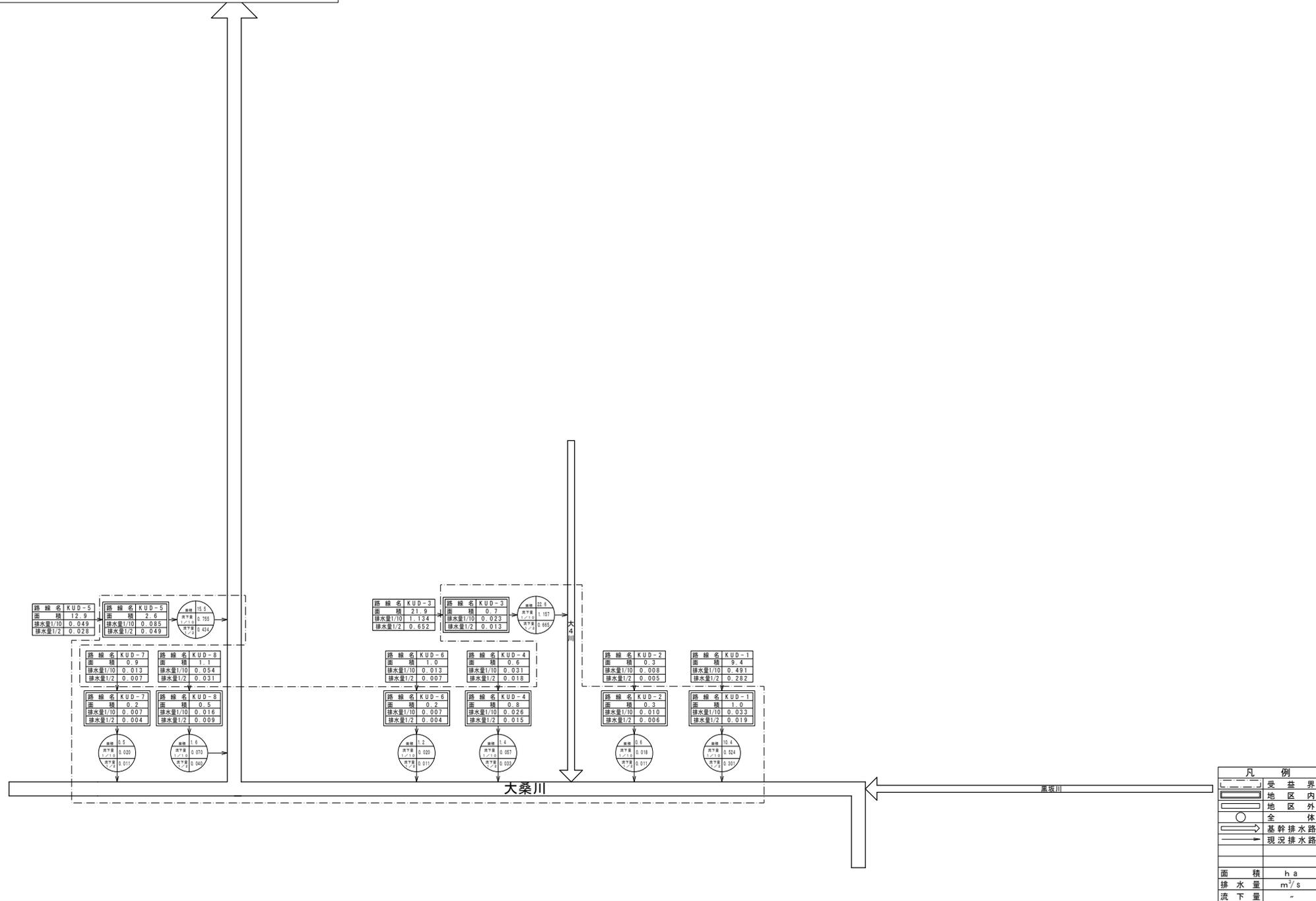
2 計画排水方式

自然排水 4時間雨量・4時間排除

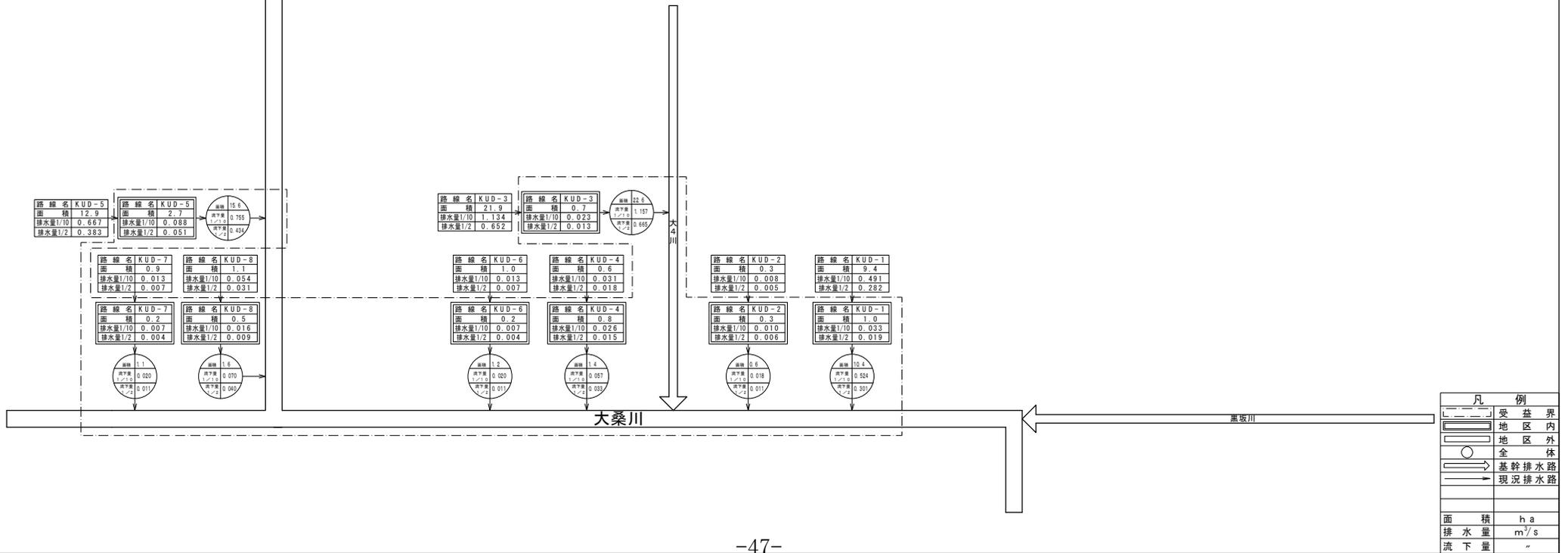
3 計画排水系統

(別紙 計画排水系統図 参照)

計画排水系統図(変更前)



計画排水系統図(変更後)



4 計画排水量

(第11表-1)

排水系統名 項目	受益面積 (ha)		流域面積 (km ²)		基準雨量	降雨による直接単位流出量 (m ³ /s/km ²)		基底流出量 (m ³ /s/km ²)		全排水量 (m ³ /s)			単位排出量 (m ³ /s/km ²)		備考
	事業名		山地	平地	(mm)	山地	平地	山地	平地	山地	平地		山地	平地	
	農業用排水施設 (排水)	計									自然排水	機械排水			
郡界川	(48.7)	(48.7)	(6.987)	(0.665)						(36.705)	(2.157)				
	43.5	43.5	6.236	0.052	94.0	5.222	3.264	—	—	32.564	0.171	—	5.222	3.264	
大桑川	(6.6)	(6.6)	(0.469)	(0.072)						(2.427)	(0.239)				
	6.4	6.4	0.468	0.069	94.0	5.222	3.264	—	—	2.444	0.225	—	5.222	3.264	
計	(55.3)	(55.3)	(7.456)	(0.737)						(39.132)	(2.396)				
	49.9	49.9	6.704	0.121						35.008	0.396	—			

5 排水対策

(1) 排水水門

該当なし

(2) 排水機
該当なし

(3) 排水路

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)		計画排水量 (m ³ /s)	延長 (km)	構造	排水本川			備考
		事業名					名称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
		農業用排水施設 (排水)	計							
支線排水路	(8.19) 6.83	(55.2) 49.8	(55.2) 49.8	(2.396) 0.396	(16.7) 13.5	組立柵渠Ⅱ型	郡界川・大桑川	—	—	
計	(8.19) 6.83	(55.2) 49.8	(55.2) 49.8	(2.396) 0.396	(16.7) 13.5					

(4) その他
該当なし

6 湛水検討
該当なし

第5節 道路計画

該当なし

第6節 農用地造成計画

該当なし

第7節 洪水調整計画

該当なし

第8節 干拓計画

該当なし

第9節 農用地整備計画

1 区画整理

本地区は、昭和40年から平成12年にかけての県営ほ場整備及びその他ほ場整備等により面整備が行われてきたが、一部の農地は区画形状が不整形であるため、営農に多大の労力がかかっている。

本事業は、区画整理整備を行い、農作業及び維持管理の省力化を図るとともに、優良農地の保全を促進することにより、農家の高齢化・兼業化の進む中、農作業の放棄による農地の荒廃を防ぐことを目的とする。

(1) 区画の形状

(第16表-1)

長辺 × 短辺 (m)	区画面積 (a)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考
水田 50×40	20	0.4	100	-	
計		0.4			

(2) 表土扱い

(第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m ³)	備考
0.4	高低差10cm以上	25	1,000	

2 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第16表-3-1)

項目 区分	面積 (ha)			土壌統 (区) 分	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 (ℓ/s/ha)	計画後の 地下水位 (m)	集水渠出口 以下の 排水方式	備考
	事業名								
本暗渠	暗渠排水			D34・F54・F52・G62	94.0	3.472	0.5	自然排水	
	(4.0)								
	4.3								

(2) 心土破碎

該当なし

3 客 土

該当なし

4 農地保全

(1) 防風林

該当なし

(2) 排水工

(第16表-5-2)

区分	項目	基準雨量 (mm/日)	土性	流出率	排水量		備 考
					単位排水量 ($m^3/s/ha$)	全排水量 (m^3/s)	
	承水路	94.0	表土：壤質 次層：壤～粘質	0.50	3.264	(0.055) 0.065	

(3) 浸食（崩壊）防止工

(第16表-5-3)

施設名	項目	位置	支配面積 (ha)	機能	備 考

第10節 老朽ため池改修計画

該当なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

- 1 貯水池
該当なし
- 2 頭首工
該当なし
- 3 揚水機
該当なし
- 4 用水路

(第17表-4)

区分	かんがい面積 (ha)		通水量 (m^3/s)	延長 (km)			構造	こう配 (%)	主要構造物	備考
	事業名			開きよ	トンネル その他	計				
	農業用排水施設 (用水)	計								
支線用水路	(72.6) 66.1	(72.6) 66.1	(0.058) 0.001 ~ 0.049	(17.3) 15.7	(0.8) 0.7	(18.1) 16.4	U型水路 管水路	0.3	取水工等	

- 5 その他かんがい施設
該当なし

第2節 排水施設

- 1 排水水門
該当なし
- 2 排水機
該当なし
- 3 排水路

(第18表-3)

区分	項目	受益面積 (ha)		排水量 (m ³ /s)	延長 (km)			構造	こう配 (%)	主要構造物	備考
		事業名			開きよ	トンネル その他	計				
		農業用排水施設 (排水)	計								
支線排水路		(55.2) 49.8	(55.2) 49.8	(2.396) 0.396	(16.7) 13.5	—	(16.7) 13.5	組立柵渠Ⅱ型	0.2	合流枘工等	

- 4 その他排水施設
該当なし

第3節 道路及び索道

- 1 道路
 - (1) 道路の総括表
該当なし
 - (2) 道路主要構造物
該当なし
- 2 索道
該当なし

第4節 農用地造成

該当なし

第5節 洪水調整施設
該当なし

第6節 干拓施設
該当なし

第7節 農用地整備施設

1 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

工区名	面積 (ha)	整地工		表土扱い		備考
		標準区画	土量(m ³)	面積 (ha)	土量(m ³)	
下山	0.4	40m×50m	1,440	0.4	1,000	

(2) 末端用水路等
該当なし

(3) 末端排水路等
該当なし

2 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第23表-4-1)

区分	項目	面積 (ha)	集水渠				排水渠				集水渠出口以下の排水施設			備考	
		事業名	勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	延長 (m/ha)	名称	構造		(個/ha)
	暗渠排水	勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	延長 (m/ha)	名称	構造	(個/ha)		
	本暗渠	(4.0) 4.3	1/500	塩ビ管	φ 65	135	1/500	塩ビ管	φ 50	0.8	1,050	水閘	カラー水閘	5	

(2) 心土破碎
該当なし

3 客土
該当なし

4 除礫
該当なし

5 農地保全
(1) 防風林
該当なし

(2) 排水路 (第23表-8)

項目 区分	延長 (m)	流量 (m ³ /s)	構造	備考
承水路	(525) 914	(0.055) 0.065	組立柵渠 I 型 400×250	

(3) 浸食防止工 (第23表-9)

項目 区分	構造	数量	備考
法面整備	蛇カゴ 他	3ヶ所	

第8節 老朽ため池改修施設

該当なし

第6章 付帯工事計画

用地買収及び補償費 (農業用排水施設)

- (1) 用地買収
用排水路 561m² (地目: 田)
- (2) 補償費
水道 20箇所 (VP管等)
電柱移転 127本 (コンクリート柱)

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

- 1 工期 着手 令和元年度
(6)
完了予定 令和12年度 (予定)
- 2 工事の年度割予定

工種	年度												備考	
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度		
農業用排水施設 (用水)														
農業用排水施設 (排水)														
農地保全														
暗渠排水														
区画整理														

第8章 環境との調和への配慮

1 配慮の対象

本地区は、豊田市田園環境整備マスタープランにおいて、環境配慮区域となっている。
地区内の用排水路には、水生生物が多く見られ、良好な生物生息空間が確保されているため、生息環境の保全に配慮していくものとする。

2 配慮の方法

工事の施工においては、各所に魚巣ブロックや合流柵、脱出用ネットを設置し、小流量時の避難場所を確保するとともに水生植物の生息場所を確保し、地区内に生息する水生生物の生育環境を保全する。

施工時期は保全対象生物が少ない時期を選ぶこととする。また、濁水及び土砂流出の防止を図るとともに、低騒音・低振動・排出ガス対策型建設機械を使用し、周辺環境に配慮する。

第9章 換地計画の概要

該当なし

第10章 事業費の総額及び内訳

(千円) (第26表)

区分 \ 事業名	全体	農業用排水施設 (用水)	農業用排水施設 (排水)	農地保全	暗渠排水	区画整理	備考
事業費※1)	(1,647,000) 2,701,312	(629,000) 919,186	(977,000) 1,713,595	(20,000) 42,749	(16,000) 21,810	(5,000) 3,972	
事務的経費※2)	(116,770) 166,550	(44,570) 59,806	(69,320) 102,523	(1,420) 2,532	(1,110) 1,535	(350) 154	
計	(1,763,770) 2,867,862	(673,570) 978,992	(1,046,320) 1,816,118	(21,420) 45,281	(17,110) 23,345	(5,350) 4,126	

(平成30)

(8)

令和6年度単価。消費税については10%で算定。(但し、物価変動により将来変動することがある。)

※1) 事業費とは土地改良事業に要する費用のうち、事務的経費を差し引いた費用。

※2) 事務的経費とは昭和48年7月23日付け48構改D第609号(設)農林水産省構造改善局長通知により定められた事務費及び工事雑費。

第11章 効 用

(第27表)

事業名	区分	項目	年総効果（便益）額 （千円）	年増加農業所得額（千円）		現況年総農業所得額 （千円）	備 考
					うち機能向上分		
全体	作物生産効果		(95,125) 148,180	(15,146) 23,756	(15,146) 23,756		
	品質向上効果		(2,389) 2,795				
	営農経費節減効果		(△ 3,491) △ 3,422	(853) 987	(853) 987		
	維持管理費節減効果		(△ 3,279) △ 2,999	(5,286) 6,193	(5,286) 6,193		
	景観・環境保全効果		(-) 18,634				
	国産農産物安定供給効果		(9,808) 18,182				
	計		(100,552) 181,370	(21,285) 30,936	(21,285) 30,936	(36,437) 48,872	
農業用排水施設 (用水)	作物生産効果		(44,606) 70,400	(24) 43	-		
	品質向上効果		(2,002) 2,451	-	-		
	営農経費節減効果		(△ 4,344) △ 4,409	-	-		
	維持管理費節減効果		(△ 1,623) △ 1,545	(2,556) 3,126	(2,556) 3,126		
	国産農産物安定供給効果		(5,189) 10,400	-	-		
	計		(45,830) 77,297	(2,580) 3,169	(2,556) 3,126	(25,830) 36,593	
農業用排水施設 (排水)	作物生産効果		(51,409) 76,869	(15,413) 23,300	(15,413) 23,300		
	品質向上効果		(386) 344	-	-		
	維持管理費節減効果		(△ 1,564) △ 1,354	(2,473) 2,797	(2,473) 2,797		
	景観・環境保全効果		(-) 18,634	-	-		
	国産農産物安定供給効果		(4,730) 7,758	-	-		
	計		(54,961) 102,251	(17,886) 26,097	(17,886) 26,097	(21,593) 29,816	

(第27表)

事業名	区分	項目	年総効果（便益）額 （千円）	年増加農業所得額（千円）		現況年総農業所得額 （千円）	備 考
					うち機能向上分		
農地保全		作物生産効果	(2,261) 3,859	(100) 647	(100) 647		
		品質向上効果	(29) 22	—	—		
		維持管理費節減効果	(△ 50) △ 53	(299) 317	(299) 317		
		国産農産物安定供給効果	(151) 474	—	—		
		計	(2,391) 4,302	(399) 964	(399) 964	(1,149) 1,852	
暗渠排水		作物生産効果	(631) 1,153	(647) 1,153	(647) 1,153		
		営農経費節減効果	(606) 701	(606) 701	(606) 701		
		維持管理費節減効果	(△ 42) △ 47	(△ 42) △ 47	(△ 42) △ 47		
		国産農産物安定供給効果	(79) 187	—	—		
		計	(1,274) 1,994	(1,211) 1,807	(1,211) 1,807	(903) 1,664	
区画整理		営農経費節減効果	(247) 286	(247) 286	(247) 286		
		計	(247) 286	(247) 286	(247) 286	(97) 119	(平成30) 令和6年度単価

<参考>

総費用 :	(1,649,430) 3,214,210 千円	総便益額 :	(2,019,207) 4,591,107 千円
当該事業による費用 :	(1,380,589) 2,586,138 千円	評価期間 :	(46) 52 年
その他費用 :	(268,841) 628,072 千円	割引率 :	0.04 (1.22)
年償還額 :	(1,190) 1,877 千円/年	総費用総便益比 :	1.42 ≥ 1.0 (0.033)
うち機能向上分 :	(72) 148 千円/年	総所得償還率 :	0.038 ≤ 0.2 (0.003)
年総効果(便益)額 :	(100,552) 181,370 千円	増加所得償還率 :	0.005 ≤ 0.4 (36,437)
現況年総農業所得額 :	48,872 千円		
年総増加農業所得額 :	(21,285) 30,936 千円		
うち機能向上分 :	(21,285) 30,936 千円		

第12章 関連する事業

(第28表)

事業名	事業主体	受益面積 (h a)	事業内容
県営農地環境整備事業 下山地区	愛知県	1.1	農業用排水施設(排水)・農地保全

第13章 現況・計画平面図

別冊添付

【 農業用排水施設（用水） 】

第1章 目 的

本地区は豊田市の中心部より東におよそ20km離れている。旧下山村地域の内、花沢町、蕪木町、下山田代町、田折町、蘭町、黒坂町の6町から構成されている水田地帯である。

本地区は、昭和40年から平成12年にかけての県営ほ場整備及びその他ほ場整備等により面整備が行われてきたが、完了後20～50年程度が経過し開水路は老朽化及び不等沈下による流水阻害や断面不足を起こし、日々の水管理に多大な労力を費やしている。

本事業は、これら老朽化した用水路の整備を行い、農作業及び維持管理の省力化を図るとともに、優良農地の保全を促進することにより、農家の高齢化・兼業化の進む中、農作業の放棄による農地の荒廃を防ぐことを目的とする。

第2章 地域及び地積

第1節 地 域

(第1表)

事業名	地 域
農業用排水施設（用水）	愛知県豊田市 花沢町、蕪木町、下山田代町、田折町、蘭町、黒坂町

第2節 地 積

(平成30) (12)

(令和7年4月現在)

(第2表)

事業名	市町村名	現況地目					計 (ha)	備 考
		田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)		
農業用排水施設 (用水)	豊田市	(65.3)	(7.3)				(72.6)	登記簿地積より
		59.2	6.9	—	—	—	66.1	

第3章 現 況

第1節 気 象

【 全 体 】と同じ

第2節 土地状況

1 地形、土壌及び浸食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地 目	田						畑 ・ その他								受益地標高(m)		備考	
		傾斜区分	1/1,000	1/1,000	1/100	1/20	1/11.5	計	3°	3°	8° ~ 15°			15°	20°	計	最高		最低
			以下	1/100	1/20	1/11.5	以上		以下	~ 8°	8° ~ 10°	10° ~ 12°	12° ~ 15°	20°	以上				
農業用排水施設(用水)	面積 (ha)	-	(65.3) 59.2	-	-	-	(65.3) 59.2	(7.3) 6.9	-	-	-	-	-	-	(7.3) 6.9	501	300		
	比率 (%)	-	100	-	-	-	100	100	-	-	-	-	-	-	100	-	-		

(第4表-1-2)

項目 土壌統(区)名	土壌統(区)区分一覧表								面積(ha)		備考		
	土壌断面								事業名				
	色	腐植	礫層	酸化沈殿物	土性			泥炭層 黒泥層 グライ層	堆積様式	母材		農業用排水施設(用水)	計
					表土	下層土							
				一層	二層	三層							
寺津統 D34	青灰色	なし	なし	糸根、膜、管状あり~富む	壤質	壤~粘質	壤~粘質	作土直下からグライ	水積	非固結水成岩	(7.1) 6.2	(7.1) 6.2	水田
平岩統 I83	灰/黄褐色	なし	なし	糸根、膜、管状あり~富む	壤質	壤~粘質	壤~粘質	なし	水積 残積	非固結水成岩 固結火成岩	(5.8) 2.4	(5.8) 2.4	水田
上細池統 F54	灰色	なし	なし	糸根、膜、管状なし~含む	砂~壤質	砂質	砂質	なし	水積	非固結水成岩	(30.6) 30.2	(30.6) 30.2	水田
針曾根統 F52	灰色	なし	なし	糸根、膜、管状あり~富む	壤質	壤~粘質	壤~粘質	なし	水積	非固結水成岩	(13.8) 12.4	(13.8) 12.4	水田
大塚統 G62	灰褐色	なし	なし	糸根、膜、管状なし	壤質	壤質	壤質	なし	洪積	非固結水成岩	8.0	8.0	水田
柏原統	黄褐色	なし	なし	なし	壤~粘質	壤~強粘質	壤~強粘質	なし	残積	固結火成岩	(5.0) 4.5	(5.0) 4.5	畑
高雄統	黒色	なし	なし	なし	壤~粘質	壤~強粘質	壤~強粘質	なし	洪積	非固結水成岩	2.5	2.5	畑
計											(72.8) 66.2	(72.8) 66.2	

2 土地分類

該当なし

3 土地利用の状況

(平成30) (12)

(令和7年4月現在)

(第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						山 林		採 草 放 牧 地 (ha)	そ の 他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 地 (ha)	果 樹 園 (ha)	茶 園 (ha)	樹 園 地 そ の 他 (ha)	用 材 林 (ha)	薪 炭 林 (ha)				
農業用 用排水施設 (用水)	豊田市	(65.3) 59.2	(7.1) 6.8	-	(0.2) 0.1	-	-	-	-	-	-	(72.6) 66.1	登記簿地積より

4 土地所有の状況

(平成30) (12)

(令和7年4月現在)

(第4表-4)

事業名	区分	所有別					計	備 考
		個人有地等	国有地	県有地	市有地	改良区有地		
農業用 用排水施設 (用水)	面 積 (ha)	(72.6) 66.1	-	-	-	-	(72.6) 66.1	
	受 益 者 数 (人)	(220) 203	-	-	-	-	(220) 203	
	筆 数 (筆)	(709) 586	-	-	-	-	(709) 586	
	権 利 関 係	-	-	-	-	-	-	
	備 考 (関 係 戸 数)	(211) 199	-	-	-	-	(211) 199	

第3節 水利状況

- 1 用水状況 該当なし
- 2 排水状況 【 全 体 】 と同じ
- 3 河川状況 該当なし

第4節 道路概況

該当なし

第5節 地域農業の概況

【 全 体 】と同じ

第6節 地域環境の概況

【 全 体 】と同じ

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1 要旨

本地区は豊田市の中心部より東におよそ20km離れている。旧下山村地域の内、花沢町、蕪木町、下山田代町、田折町、蘭町、黒坂町の6町から構成されている水田地帯である。

本地区は、昭和40年から平成12年にかけての県営ほ場整備及びその他ほ場整備等により面整備が行われてきたが、完了後20～50年程度が経過し開水路は老朽化及び不等沈下による流水阻害や断面不足を起こし、日々の水管理に多大な労力を費やしている。本事業は、これら老朽化した用水路の整備を行い、農作業及び維持管理の省力化を図るとともに、優良農地の保全を促進することにより、農家の高齢化・兼業化の進む中、農作業の放棄による農地の荒廃を防ぐことを目的とする。

2 事業別面積

(第8表)

事業名 土地 利用区分 事業目的	農業用排水施設（用水）						計 (ha)	備 考
	水田	普通畑	牧草地	果樹園	その他	小計		
	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		
農業用排水施設（用水）	(65.3)	(7.1)		(0.2)		(72.6)	(72.6)	登記簿地積より
	59.2	6.8	—	0.1	—	66.1	66.1	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1 営農計画の概要

【 全 体 】と同じ

2 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分	水田	普通畑	牧草地	果樹園	茶園	その他	小計	原野	山林	その他	計	備考
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農業用排水施設(用水)	現況	(65.0) 59.2	(7.2) 6.9	—	(0.2) 0.1	—	—	(72.4) 66.2	—	—	—	(72.4) 66.2	
	計画	(65.3) 59.2	(7.1) 6.8	—	(0.2) 0.1	—	—	(72.6) 66.1	—	—	—	(72.6) 66.1	

3 作付方式

【全体】と同じ

4 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目		作物名	作付面積			作付率		単位面積当り収量			生産量			同左生産量増減の内訳		備考
				(ha)			(%)		(kg/10a)			(t)			(t)		
	土地利用区分	表作	水田	現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当り収量増加	
農業用排水施設(用水)	水田	表作	水稻	(59.8)	(60.1)	(0.3)	(89.3)	(89.2)	(505.0)	(505.0)		(302.0)	(303.4)	(1.4)			
				54.4	54.5	0.1	88.5	88.5	488.0	488.0	—	265.3	265.8	0.5	—	—	
	普通畑	表作	ナス	1.2	1.2	—	(1.8)	(1.8)	(2,829.0)	(2,829.0)		(33.9)	(33.9)				
			サトイモ	(3.6)	(3.7)	(0.1)	(5.4)		(992.0)	(992.0)		(35.7)	(36.7)	(1.0)			
			小菊	3.4	3.4	—	5.5	5.5	1297.0	1297.0	—	44.1	44.1	—	—	—	
			シクラメン	2.0	2.0	—	(3.0)	(3.0)	(36.0)	(36.0)		0.7	0.7	—	—	—	
	樹園地	表作	柿	0.3	0.3	—	(0.4)	(0.4)		0.0	0.0	—	—	—			
			0.1	0.1	—	(0.1)	(0.1)	(1,283.0)	(1,283.0)		(1.3)	(1.3)					
			0.2	0.2	—	0.2	0.2	1141.0	1141.0	—	1.1	1.1	—	—			
			計	(67.0)	(67.4)	(0.4)						(373.6)	(376.0)	(2.4)			
				61.4	61.5	0.1	100.0	100.0				373.0	373.5	0.5	—	—	

本地率： (田) 92% (施設畑) 75%
(畑・樹園地) 100%

作付面積は、受益面積に本地率をかけたものである。

5 労働改善計画

該当なし

6 級地別土地利用区分

該当なし

7 土地配分計画

該当なし

第3節 用水計画

【 全 体 】と同じ

第4節 排水計画

該当なし

第5節 道路計画

該当なし

第6節 農用地造成計画

該当なし

第7節 洪水調整計画

該当なし

第8節 干拓計画

該当なし

第9節 農用地整備計画

該当なし

第10節 老朽ため池改修計画

該当なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

【全体】と同じ

第2節 排水施設

該当なし

第3節 道路及び索道

該当なし

第4節 農用地造成

該当なし

第5節 洪水調整施設

該当なし

第6節 干拓施設

該当なし

第7節 農用地整備施設

該当なし

第8節 老朽ため池改修施設

該当なし

第6章 付帯工事計画

用地買収及び補償費

(1) 用地買収

用水路 353m² (地目：田)

(2) 補償費

電柱移転 96本 (コンクリート柱)

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

1 工期 着手 令和元年度
(6)
完了予定 令和12年度 (予定)

2 工事の年度割予定

工種	年度												備考	
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度		
農業用排水施設 (用水)														

第8章 環境との調和への配慮

【全体】と同じ

第9章 換地計画の概要

該当なし

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

区分	事業名	農業用排水施設（用水）		備考
		（千円）		
	事業費 ^{※1}	(629,000)	919,186	
	事務的経費 ^{※2}	(44,570)	59,806	
	計	(673,570)	978,992	
関連事業 （参考）	—			
	—			

(平成30) (8)

令和6年度単価。消費税については10%で算定。（但し、物価変動により将来変動することがある。）

※1) 事業費とは土地改良事業に要する費用のうち、事務的経費を差し引いた費用。

※2) 事務的経費とは昭和48年7月23日付け48構改D第609号(設)農林水産省構造改善局長通知により定められた事務費及び工事雑費。

第11章 効 用

(第27表)

事業名	区分	項目	年総効果（便益）額 （千円）	年増加農業所得額（千円）		現況年総農業所得額 （千円）	備考
				うち機能向上分			
農業用 排水施設 （用水）	作物生産効果		(44,606)	(24)			
			70,400	43	—		
	品質向上効果		(2,002)				
			2,451	—	—		
	営農経費節減効果		(△ 4,344)				
			△ 4,409	—	—		
維持管理費節減効果		(△ 1,623)	(2,556)	(2,556)			
		△ 1,545	3,126	3,126			
国産農産物安定供給効果		(5,189)					
		10,400	—	—			
	計	(45,830)	(2,580)	(2,556)	(25,830)	(平成30)	
		77,297	3,169	3,126	36,593	令和6年度単価	

<参考>

総費用 :	(661,973)
	1,069,962 千円
	(528,803)
当該事業による費用 :	876,006 千円
	(133,170)
その他費用 :	193,956 千円
	(1,095)
年償還額 :	1,729 千円
うち機能向上分 :	－ 千円
	(45,830)
年総効果（便益）額 :	77,297 千円
	(25,830)
現況年総農業所得額 :	36,593 千円
	(2,580)
年総増加農業所得額 :	3,169 千円

総便益額 :	(947,910)
	2,103,508 千円
	(46)
評価期間 :	52 年
割引率 :	0.04
	(1.43)
総費用総便益比 :	1.96 \geq 1.0
	(0.042)
総所得償還率 :	0.047 \leq 0.2
増加所得償還率 :	－ \leq 0.4

第12章 関連する事業

【全体】と同じ

第13章 現況・計画平面図

【全体】と同じ

【 農業用排水施設（排水） 】

第1章 目 的

本地区は豊田市の中心部より東におよそ20km離れている。旧下山村地域の内、花沢町、蕪木町、下山田代町、田折町、蘭町、黒坂町の6町から構成されている水田地帯である。

本地区は、昭和40年から平成12年にかけての県営ほ場整備及びその他ほ場整備等により面整備が行われてきたが、完了後20～50年程度が経過し開水路は老朽化及び不等沈下による流水阻害や断面不足を起こし、日々の水管理に多大な労力を費やしている。

本事業は、これら老朽化した排水路の整備を行い、農作業及び維持管理の省力化を図るとともに、優良農地の保全を促進することにより、農家の高齢化・兼業化の進む中、農作業の放棄による農地の荒廃を防ぐことを目的とする。

第2章 地域及び地積

第1節 地 域

(第1表)

事業名	地 域
農業用排水施設（排水）	愛知県豊田市 花沢町、蕪木町、下山田代町、田折町、蘭町、黒坂町

第2節 地 積

(平成30) (12)

(令和7年4月現在)

(第2表)

事業名	市町村名	現況地目					計 (ha)	備 考
		田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)		
農業用排水施設 (排水)	豊田市	(50.5)	(4.7)				(55.2)	登記簿地積より
		45.6	4.2	—	—	—	49.8	

第3章 現 況

第1節 気 象

【 全 体 】と同じ

第2節 土地状況

1 地形、土壌及び浸食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地 目	田						畑 ・ その他								受益地標高(m)		備考	
		傾斜区分	1/1,000	1/1,000	1/100	1/20	1/11.5	計	3°	3°	8° ~ 15°			15°	20°	計	最高		最低
			以下	1/100	1/20	1/11.5	以上				8°	10°	12°						
農業用 用排水施設 (排水)	面積 (ha)	-	(50.5) 45.6	-	-	-	(50.5) 45.6	(4.7) 4.2	-	-	-	-	-	-	(4.7) 4.2	490	300		
	比率 (%)	-	100	-	-	-	100	100	-	-	-	-	-	-	100	-	-		

(第4表-1-2)

項目 土壌統(区)名	土壌統(区)区分一覧表										面積(ha)		備考
	土壌断面								堆積 様式	母 材	事業名		
	色	腐植	礫層	酸化 沈殿物	土 性			泥炭層 黒泥層 グライ層			農業用排水 施設 (排水)	計	
					表土 一層	下層土 二層	三層						
寺津統 D34	青灰色	なし	なし	糸根、膜、管状 あり~富む	壤質	壤~ 粘質	壤~ 粘質	作土直下か らグライ	水積	非固結水成岩	(5.9) 6.4	(5.9) 6.4	水田
平岩統 I83	灰/ 黄褐色	なし	なし	糸根、膜、管状 あり~富む	壤質	壤~ 粘質	壤~ 粘質	なし	水積 残積	非固結水成岩 固結火成岩	(4.5) 0.6	(4.5) 0.6	水田
上細池統 F54	灰色	なし	なし	糸根、膜、管状 なし~含む	砂~ 壤質	砂質	砂質	なし	水積	非固結水成岩	(23.6) 23.8	(23.6) 23.8	水田
針曾根統 F52	灰色	なし	なし	糸根、膜、管状 あり~富む	壤質	壤~ 粘質	壤~ 粘質	なし	水積	非固結水成岩	(11.2) 9.6	(11.2) 9.6	水田
大塚統 G62	灰褐色	なし	なし	糸根、膜、管状 なし	壤質	壤質	壤質	なし	洪積	非固結水成岩	(5.3) 5.2	(5.3) 5.2	水田
柏原統	黄褐色	なし	なし	なし	壤~ 粘質	壤~ 強粘質	壤~ 強粘質	なし	残積	固結火成岩	(3.5) 3.1	(3.5) 3.1	畑
高雄統	黒色	なし	なし	なし	壤~ 粘質	壤~ 強粘質	壤~ 強粘質	なし	洪積	非固結水成岩	(1.3) 1.2	(1.3) 1.2	畑
計											(55.3) 49.9	(55.3) 49.9	

2 土地分類

該当なし

3 土地利用の状況

(第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						山 林		採草放牧地	そ の 他	計	備 考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	樹園地 その他の (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)				
農業用排水施設 (排水)	豊田市	(50.5)	(4.6)								(55.2)	登記簿地積より	
		45.6	4.1	-	0.1	-	-	-	-	-	49.8		

4 土地所有の状況

(平成30)(12)

(令和7年4月現在)

(第4表-4)

事業名	所有別 区分	個人有地等	国有地	県有地	市有地	改良区有地	計	備 考
農業用排水施設 (排水)	面積 (ha)	(55.2) 49.8	-	-	-	-	(55.2) 49.8	
	受益者数 (人)	(183) 161	-	-	-	-	(183) 161	
	筆 数 (筆)	(543) 406	-	-	-	-	(543) 406	
	権 利 関 係	-	-	-	-	-	-	
	備考 (関係戸数)	(175) 158	-	-	-	-	(175) 158	

第3節 水利状況

- 1 用水状況 該当なし
- 2 排水状況 【全体】と同じ
- 3 河川状況 該当なし

第4節 道路概況

該当なし

第5節 地域農業の概況

【全体】と同じ

第6節 地域環境の概況

【全体】と同じ

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1 要旨

本地区は豊田市の中心部より東におよそ20km離れている。旧下山村地域の内、花沢町、蕪木町、下山田代町、田折町、蘭町、黒坂町の6町から構成されている水田地帯である。

本地区は、昭和40年から平成12年にかけての県営ほ場整備及びその他ほ場整備等により面整備が行われてきたが、完了後20～50年程度が経過し開水路は老朽化及び不等沈下による流水阻害や断面不足を起し、日々の水管理に多大な労力を費やしている。

本事業は、これら老朽化した排水路の整備を行い、農作業及び維持管理の省力化を図るとともに、優良農地の保全を促進することにより、農家の高齢化・兼業化の進む中、農作業の放棄による農地の荒廃を防ぐことを目的とする。

2 事業別面積

(第8表)

事業名 土地 利用区分 事業目的	農業用排水施設（排水）						計 (ha)	備 考
	水田	普通畑	牧草地	果樹園	その他	小計		
	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		
農業用排水施設（排水）	(50.5) 45.6	(4.6) 4.1	—	0.1	—	(55.2) 49.8	(55.2) 49.8	登記簿地積による

第2節 営農計画及び土地利用計画

1 営農計画の概要

【 全 体 】と同じ

2 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用 区分	水 田	普通畑	牧草地	果樹園	茶 園	その他	小 計	原 野	山 林	その他	計	備 考
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農業用 排水施設 (排水)	現況	(50.3) 45.6	(4.7) 4.2	—	0.1	—	—	(55.1) 49.9	—	—	—	(55.1) 49.9	
	計画	(50.5) 45.6	(4.7) 4.2	—	0.1	—	—	(55.3) 49.9	—	—	—	(55.3) 49.9	

3 作付方式

【 全 体 】と同じ

4 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目 土地 利用区分		作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当り収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の 内訳 (t)		備 考
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積 増減	単位面積 当り収量 増加	
農業用排水施設 (排水)	水田	表作	水稻	(46.3)	(46.5)	(0.2)	(90.8)	(90.8)	(505.0)	(505.0)		(233.7)	(234.6)	(0.9)			
				41.9	42.0	0.1	90.5	90.5	488.0	488.0	-	204.3	204.7	0.4	-	-	
	普通畑	表作	ナス	(1.1)	(1.1)				(2,829.0)	(2,829.0)		(31.1)	(31.1)				
				1.0	1.0	-	2.1	2.1	5148.0	5148.0	-	51.5	51.5	-	-	-	
			サトイモ	(2.2)	(2.2)		(4.3)	(4.3)	(992.0)	(992.0)		(21.8)	(21.8)				
				1.9	1.9	-	4.1	4.1	1297.0	1297.0	-	24.6	24.6	-	-	-	
	小菊	(0.7)	(0.7)		(1.4)	(1.4)	(36.0)	(36.0)		(0.3)	(0.3)						
0.6		0.6	-	1.3	1.3	35.0	35.0	-	0.2	0.2	-	-	-				
シクラメン	(0.6)	(0.6)		(1.2)	(1.2)												
	0.8	0.8	-	1.8	1.8	10.0	10.0	-	0.1	0.1	-	-	-				
樹園地	表作	柿	0.1	0.1	-	0.2	0.2	(1,283.0)	(1,283.0)		(1.3)	(1.3)					
計			(51.0)	(51.2)	(0.2)						(288.3)	(289.2)	(0.9)				
			46.3	46.4	0.1	100.0	100.0				281.8	282.2	0.4	-	-		

本地率： (田) 92% (施設畑) 75%
(畑・樹園地) 100%

* 作付面積は、受益面積に本地率をかけたものである。

5 労働改善計画

該当なし

6 級地別土地利用区分

該当なし

7 土地配分計画

該当なし

第3節 用水計画

該当なし

第4節 排水計画

【 全 体 】と同じ

第5節 道路計画

該当なし

第6節 農用地造成計画

該当なし

第7節 洪水調整計画

該当なし

第8節 干拓計画

該当なし

第9節 農用地整備計画

該当なし

第10節 老朽ため池改修計画

該当なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

該当なし

第2節 排水施設

【 全 体 】と同じ

第3節 道路及び索道

該当なし

第4節 農用地造成

該当なし

第5節 洪水調整施設

該当なし

第6節 干拓施設

該当なし

第7節 農用地整備施設

該当なし

第8節 老朽ため池改修施設

該当なし

第6章 付帯工事計画

用地買収及び補償費（農業用排水施設）

（1）用地買収

用排水路 ・ ・ ・ ・ ・ 208m²（地目：田）

（2）補償費

水道 ・ ・ ・ ・ ・ 20箇所（VP管等）

電柱移転 ・ ・ ・ ・ ・ 38本（コンクリート柱）

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

1 工期 着手 令和元年度
(6)
完了予定 令和12年度（予定）

2 工事の年度割予定

工種	年度												備考	
	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度		
農業用排水施設 (排水)														

第8章 環境との調和への配慮

【全体】と同じ

第9章 換地計画の概要

該当なし

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

区分	事業名	農業用排水施設（排水） (千円)	備考
	事業費 ^{※1)}	(977,000) 1,713,595	
	事務的経費 ^{※2)}	(69,320) 102,523	
	計	(1,046,320) 1,816,118	
関連事業 (参考)	—		
	—		

(平成30) (8)

令和6年度単価。消費税については10%で算定。(但し、物価変動により将来変動することがある。)

※1)事業費とは土地改良事業に要する費用のうち、事務的経費を差し引いた費用。

※2)事務的経費とは昭和48年7月23日付け48構改D第609号(設)農林水産省構造改善局長通知により定められた事務費及び工事雑費。

第11章 効 用

(第27表)

事業名	区分	項目	年総効果（便益）額 （千円）	年増加農業所得額（千円）		現況年総農業所得額 （千円）	備 考
					うち機能向上分		
農業用 用排水施設 (排水)	作物生産効果		(51,409)	(15,413)	(15,413)		
			76,869	23,300	23,300		
	品質向上効果		(386)				
			344	—	—		
	維持管理費節減効果		(△1,564)	(2,473)	(2,473)		
			△ 1,354	2,797	2,797		
景観・環境保全効果		(-)					
		18,634	—	—			
国産農産物安定供給効果		(4,730)					
		7,758	—	—			
	計		(54,961)	(17,886)	(17,886)	(21,593)	(平成30)
			102,251	26,097	26,097	29,816	令和6年度単価

<参考>

総 費 用 :	(942,688)	2,054,948 千円	総 便 益 額 :	(1,079,761)	2,461,390 千円
当該事業による費用 :	(817,478)	1,647,402 千円	評 価 期 間 :	(46)	52 年
そ の 他 費 用 :	(125,210)	407,546 千円	割 引 率 :	0.04	
年 償 還 額 :		— 千円	総 費 用 総 便 益 比 :	(1.14)	1.19 ≥ 1.0
う ち 機 能 向 上 分 :		— 千円	総 所 得 償 還 率 :		— ≤ 0.2
年 総 効 果 (便 益) 額 :	(54,961)	102,251 千円	増 加 所 得 償 還 率 :		— ≤ 0.4
現 況 年 総 農 業 所 得 額 :	(21,593)	29,816 千円			
年 総 増 加 農 業 所 得 額 :	(17,886)	26,097 千円			

第12章 関連する事業

【 全 体 】と同じ

第13章 現況・計画平面図

【 全 体 】と同じ

【農地保全】

第1章 目 的

本地区は豊田市の中心部より東におよそ20km離れている。旧下山村地域の内、花沢町、蕪木町、下山田代町、田折町、蘭町、黒坂町の6町から構成されている水田地帯である。

本地区は、昭和40年から平成12年にかけての県営ほ場整備及びその他ほ場整備等により面整備が行われてきたが、完了後20～50年程度が経過し、一部農地においては排水不良のため農地が湿田化している上、山間地で急勾配のため農地法面の崩れ等の問題が起こり、日々の水管理に多大な労力を費やしている。

本事業は、これら老朽化した施設の整備を行い、農作業及び維持管理の省力化を図るとともに、優良農地の保全を促進することにより、農家の高齢化・兼業化の進む中、農作業の放棄による農地の荒廃を防ぐことを目的とする。

第2章 地域及び地積

第1節 地 域

(第1表)

事業名	地 域
農 地 保 全	愛知県豊田市 花沢町、下山田代町、蘭町、黒坂町

第2節 地 積

(平成30)(12)

(令和7年4月現在)

(第2表)

事業名	現況地目							計 (ha)	備 考
	市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)			
農 地 保 全		(2.1)					(2.5)	登記簿地積より	
	豊田市	2.9	0.4	—	—	—	3.3		

第3章 現 況

第1節 気 象

【 全 体 】と同じ

第2節 土地状況

1 地形、土壌及び浸食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地 目	田						畑・その他								受益地標高(m)		備考	
		傾斜区分	1/1,000	1/1,000	1/100	1/20	1/11.5	計	3°	3°	8°～15°			15°	20°	計	最高		最低
			以下	1/100	1/20	1/11.5	以上				8°	10°	12°						
農地保全	面積 (ha)	—	(2.1) 2.9	—	—	—	(2.1) 2.9	0.4	—	—	—	—	—	—	0.4	501	301		
	比率 (%)	—	100	—	—	—	100	100	—	—	—	—	—	—	100	—	—		

(第4表-1-2)

項目 土壌統(区)名	土壌統(区)区分一覧表										面積(ha)		備考
	土壌断面								堆積様式	母材	事業名		
	色	腐植	礫層	酸化沈殿物	土性			泥炭層 黒泥層 グライ層			農地保全	計	
					表土	下層土							
				一層	二層	三層							
寺津統 D34	青灰色	なし	なし	糸根、膜、管状 あり～富む	壤質	壤～ 粘質	壤～ 粘質	作土直下か らグライ	水積	非固結水成岩	(0.3) 0.6	(0.3) 0.6	水田
平岩統 I83	灰/ 黄褐色	なし	なし	糸根、膜、管状 あり～富む	壤質	壤～ 粘質	壤～ 粘質	なし	水積 残積	非固結水成岩 固結火成岩	(0.2) —	(0.2) —	水田
上細池統 F54	灰色	なし	なし	糸根、膜、管状 なし～含む	砂～ 壤質	砂質	砂質	なし	水積	非固結水成岩	(1.4) 1.2	(1.4) 1.2	水田
大塚統 G62	灰褐色	なし	なし	糸根、膜、管状 なし	壤質	壤質	壤質	なし	洪積	非固結水成岩	(0.2) 1.1	(0.2) 1.1	水田
柏原統	黄褐色	なし	なし	なし	壤～ 粘質	壤～ 強粘質	壤～ 強粘質	なし	残積	固結火成岩	0.2	0.2	畑
高雄統	黒色	なし	なし	なし	壤～ 粘質	壤～ 強粘質	壤～ 強粘質	なし	洪積	非固結水成岩	0.2	0.2	畑
計											(2.5) 3.3	(2.5) 3.3	

2 土地分類

該当なし

3 土地利用の状況

(平成30) (12)

(令和7年4月現在)

(第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						山 林		採 草 放 牧 地	そ の 他	計	備 考
		水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 地 (ha)	果 樹 園 (ha)	茶 園 (ha)	樹 園 地 そ の 他 (ha)	用 材 林 (ha)	薪 炭 林 (ha)				
農地保全	豊田市	(2.1) 2.9	0.4	—	—	—	—	—	—	—	—	(2.5) 3.3	登記簿地積より

4 土地所有の状況

(平成30) (12)

(令和7年4月現在)

(第4表-4)

事業名	区分 所有別	個人有地等	国有地	県有地	市有地	改良区有地	計	備 考
農地保全	面積 (ha)	(2.5) 3.3	—	—	—	—	(2.5) 3.3	
	受益者数 (人)	(18) 20	—	—	—	—	(18) 20	
	筆 数 (筆)	(25) 26	—	—	—	—	(25) 26	
	権 利 関 係	—	—	—	—	—	—	
	備考 (関係戸数)	(18) 20	—	—	—	—	(18) 20	

第3節 水利状況

該当なし

第4節 道路概況

該当なし

第5節 地域農業の概況

【全体】と同じ

第6節 地域環境の概況

【全体】と同じ

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1 要旨

本地区は豊田市の中心部より東におよそ20km離れている。旧下山村地域の内、花沢町、蕪木町、下山田代町、田折町、蘭町、黒坂町の6町から構成されている水田地帯である。

本地区は、昭和40年から平成12年にかけての県営ほ場整備及びその他ほ場整備等により面整備が行われてきたが、完了後20～50年程度が経過し、一部農地においては排水不良のため農地が湿田化している上、山間地で急勾配のため農地法面の崩れ等の問題が起こり、日々の水管理に多大な労力を費やしている。

本事業は、これら老朽化した施設の整備を行い、農作業及び維持管理の省力化を図るとともに、優良農地の保全を促進することにより、農家の高齢化・兼業化の進む中、農作業の放棄による農地の荒廃を防ぐことを目的とする。

2 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用区分 事業目的	農地整備						計 (ha)	備考
	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)		
農地保全	(2.1) 2.9	0.4	—	—	—	(2.5) 3.3	(2.5) 3.3	登記簿地積による

第2節 営農計画及び土地利用計画

1 営農計画の概要

【全体】と同じ

2 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分	水田	普通畑	牧草地	果樹園	茶園	その他	小計	原野	山林	その他	計	備考
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農地保全	現況	(2.1) 2.9	0.4	-	-	-	-	(2.5) 3.3	-	-	-	(2.5) 3.3	
	計画	(2.1) 2.9	0.4	-	-	-	-	(2.5) 3.3	-	-	-	(2.5) 3.3	

3 作付方式

【全体】と同じ

4 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目		作物名	作付面積			作付率		単位面積当り収量			生産量			同左生産量増減の内訳		備考
				(ha)			(%)		(kg/10a)			(t)			(t)		
	土地利用区分		現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当り収量増加		
農地保全	水田	表作	水稻	(1.9) 2.7	(1.9) 2.7	-	(82.8) 87.0	(82.8) 87.0	(505.0) 488.0	(505.0) 488.0	-	(9.8) 13.0	(9.8) 13.0	-	-	-	
	普通畑	表作	サトイモ	0.2	0.2	-	(8.6) 6.5	(8.6) 6.5	(992.0) 1297.0	(992.0) 1297.0	-	(2.0) 2.6	(2.0) 2.6	-	-	-	
			小菊	0.2	0.2	-	(8.6) 6.5	(8.6) 6.5	(36.0) 35.0	(36.0) 35.0	-	0.1 0.1	0.1 0.1	-	-	-	
	計			(2.3) 3.1	(2.3) 3.1	-	100.0 100.0	100.0 100.0				(11.9) 15.7	(11.9) 15.7	-	-	-	

本地率：(田) 92%
(畑・樹園地) 100%

*作付面積は、受益面積に本地率をかけたものである。

5 労働改善計画

該当なし

6 級地別土地利用区分

該当なし

7 土地配分計画

該当なし

第3節 用水計画

該当なし

第4節 排水計画

該当なし

第5節 道路計画

該当なし

第6節 農用地造成計画

該当なし

第7節 洪水調整計画

該当なし

第8節 干拓計画

該当なし

第9節 農用地整備計画

1 区画整理

該当なし

2 暗渠排水

該当なし

3 客土

該当なし

4 農地保全

【全体】と同じ

第10節 老朽ため池改修計画

該当なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

該当なし

第2節 排水施設

該当なし

第3節 道路及び索道

該当なし

第4節 農用地造成

該当なし

第5節 洪水調整施設

該当なし

第6節 干拓施設

該当なし

第7節 農用地整備施設

1 区画整理

該当なし

2 暗渠排水

該当なし

3 客土

該当なし

4 除礫
該当なし

5 農地保全
【 全 体 】と同じ

第8節 老朽ため池改修施設
該当なし

第6章 付帯工事計画

用地買収及び補償費
該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

1 工期 着手 令和元年度
(6)
完了予定 令和12年度 (予定)

2 工事の年度割予定

工種	年度												備考	
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度		
農地保全														

第8章 環境との調和への配慮

【全体】と同じ

第9章 換地計画の概要

該当なし

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

区分	事業名	農 地 保 全 (千円)		備 考
	事業費 ^{※1)}		(20,000) 42,749	
	事務的経費 ^{※2)}		(1,420) 2,532	
	計		(21,420) 45,281	
関連事業 (参考)	—			
	—			

(平成30)

(8)

令和6年度単価。消費税については10%で算定。(但し、物価変動により将来変動することがある。)

- ※1) 事業費とは土地改良事業に要する費用のうち、事務的経費を差し引いた費用。
 ※2) 事務的経費とは昭和48年7月23日付け48構改D第609号(設)農林水産省構造改善局長通知により定められた事務費及び工事雑費。

第11章 効 用

(第27表)

事業名	項目 区分	年総効果（便益）額 （千円）	年増加農業所得額（千円）		現況年総農業所得額 （千円）	備 考
				うち機能向上分		
農地保全	作物生産効果	(2,261) 3,859	(100) 647	(100) 647		
	品質向上効果	(29) 22	—	—		
	維持管理費節減効果	(△ 50) △ 53	(299) 317	(299) 317		
	国産農産物安定供給効果	(151) 474	—	—		
	計	(2,391) 4,302	(399) 964	(399) 964	(1,149) 1,852	(平成30) 令和6年度単価

<参考>

総 費 用 :	(23,733) 60,797 千円	総 便 益 額 :	(47,871) 110,572 千円
当該事業による費用 :	(16,806) 38,864 千円	評 価 期 間 :	(46) 52 年
そ の 他 費 用 :	(6,927) 21,933 千円	割 引 率 :	0.04
年 償 還 額 :	(35) 80 千円	総 費 用 総 便 益 比 :	(2.01) 1.81 ≥ 1.0
う ち 機 能 向 上 分 :	(35) 80 千円	総 所 得 償 還 率 :	(0.030) 0.043 ≤ 0.2
年 総 効 果 (便 益) 額 :	(2,391) 4,302 千円	増 加 所 得 償 還 率 :	(0.088) 0.083 ≤ 0.4
現 況 年 総 農 業 所 得 額 :	(1,149) 1,852 千円		
年 総 増 加 農 業 所 得 額 :	(399) 964 千円		

第12章 関連する事業

【 全 体 】と同じ

第13章 現況・計画平面図

【 全 体 】と同じ

【暗渠排水】

第1章 目的

本地区は豊田市の中心部より東におよそ20km離れている。旧下山村地域の内、花沢町、蕪木町、下山田代町、田折町、蘭町、黒坂町の6町から構成されている水田地帯である。

本地区は、昭和40年から平成12年にかけての県営ほ場整備及びその他ほ場整備等により面整備が行われてきたが、完了後20～50年程度が経過し、一部農地においては排水不良のため農地が湿田化しているため、営農に多大の労力がかかっている。

本事業は、暗渠排水整備を行い、農作業及び維持管理の省力化を図るとともに、優良農地の保全を促進することにより、農家の高齢化・兼業化の進む中、農作業の放棄による農地の荒廃を防ぐことを目的とする。

第2章 地域及び地積

第1節 地域

(第1表)

事業名	地域
暗渠排水	愛知県豊田市 花沢町、下山田代町、黒坂町

第2節 地積

(平成30) (12)

(令和7年4月現在)

(第2表)

事業名	現況地目		田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
	市町村名								
暗渠排水			(4.0)					(4.0)	登記簿地積より
	豊田市		4.3	—	—	—	—	4.3	

第3章 現況

第1節 気象

【全体】と同じ

第2節 土地状況

1 地形、土壌及び浸食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑・その他								受益地標高(m)		備考	
		傾斜区分	1/1,000	1/1,000	1/100	1/20	1/11.5	計	3°以下	3°～8°	8°～15°			15°～20°	20°以上	計	最高		最低
			以下	1/100	1/20	1/11.5	以上				8°～10°	10°～12°	12°～15°						
暗渠排水	面積 (ha)	—	(4.0) 4.3	—	—	—	(4.0) 4.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	478	348	
	比率 (%)	—	100	—	—	100	100	100	—	—	—	—	—	—	100	—	—		

(第4表-1-2)

項目 土壌統(区)名	土壌統(区)区分一覧表										面積(ha)		備考
	土壌断面								堆積様式	母材	事業名		
	色	腐植	礫層	酸化沈殿物	土性			泥炭層 黒泥層 グライ層			暗渠排水	計	
					表土 一層	下層土 二層 三層							
寺津統 D34	青灰色	なし	なし	糸根、膜、管状 あり～富む	壤質	壤～ 粘質	壤～ 粘質	作土直下か らグライ	水積	非固結水成岩	(0.6) 1.8	(0.6) 1.8	水田
上細池統 F54	灰色	なし	なし	糸根、膜、管状 なし～含む	砂～ 壤質	砂質	砂質	なし	水積	非固結水成岩	(2.4) 2.0	(2.4) 2.0	水田
針曾根統 F52	灰色	なし	なし	糸根、膜、管状 あり～富む	壤質	壤～ 粘質	壤～ 粘質	なし	水積	非固結水成岩	0.3	0.3	水田
大塚統 G62	灰褐色	なし	なし	糸根、膜、管状 なし	壤質	壤質	壤質	なし	洪積	非固結水成岩	(0.7) 0.2	(0.7) 0.2	水田
計											(4.0) 4.3	(4.0) 4.3	

2 土地分類

該当なし

3 土地利用の状況

(平成30) (12)

(令和7年4月現在)

(第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						山 林		採草放牧地 (ha)	そ の 他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	樹園地 その他の (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)				
暗渠排水	豊田市	(4.0) 4.3	—	—	—	—	—	—	—	—	(4.0) 4.3	登記簿地積より	

4 土地所有の状況

(平成30) (12)

(令和7年4月現在)

(第4表-4)

事業名	区分 所有別	個人有地等	国有地	県有地	市有地	改良区有地	計	備 考
		面積 (ha)	(4.0) 4.3	—	—	—		
暗渠排水	受益者数 (人)	(20) 22	—	—	—	—	(20) 22	
	筆 数 (筆)	29	—	—	—	—	29	
	権 利 関 係	—	—	—	—	—	—	
	備考 (関係戸数)	(20) 22	—	—	—	—	(20) 22	

第3節 水利状況

該当なし

第4節 道路概況

該当なし

第5節 地域農業の概況

【 全 体 】と同じ

第6節 地域環境の概況

【 全 体 】と同じ

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1 要旨

本地区は豊田市の中心部より東におよそ20km離れている。旧下山村地域の内、花沢町、蕪木町、下山田代町、田折町、蘭町、黒坂町の6町から構成されている水田地帯である。

本地区は、昭和40年から平成12年にかけての県営ほ場整備及びその他ほ場整備等により面整備が行われてきたが、完了後20～50年程度が経過し、一部農地においては排水不良のため農地が湿田化しているため、営農に多大の労力がかかっている。

本事業は、暗渠排水整備を行い、農作業及び維持管理の省力化を図るとともに、優良農地の保全を促進することにより、農家の高齢化・兼業化の進む中、農作業の放棄による農地の荒廃を防ぐことを目的とする。

2 事業別面積

(第8表)

事業名 土地 利用区分 事業目的	暗渠排水						計 (ha)	備 考
	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)		
暗渠排水	(4.0) 4.3	—	—	—	—	(4.0) 4.3	(4.0) 4.3	登記簿地積による

第2節 営農計画及び土地利用計画

1 営農計画の概要

【 全 体 】と同じ

2 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用 区分	水 田	普通畑	牧草地	果樹園	茶 園	その他	小 計	原 野	山 林	その他	計	備 考
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
暗渠排水	現況	(4.0) 4.3	—	—	—	—	—	(4.0) 4.3	—	—	—	(4.0) 4.3	
	計画	(4.0) 4.3	—	—	—	—	—	(4.0) 4.3	—	—	—	(4.0) 4.3	

3 作付方式

【 全 体 】と同じ

4 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目 土地利用区分		作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当り収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備 考
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当り収量増加	
	暗渠排水	水田	表作	水稻	(3.7)	(3.7)				(505.0)	(505.0)		(18.6)	(18.6)			
4.0					4.0	—	100.0	100.0	488.0	488.0	—	19.3	19.3	—	—	—	
計		(3.7)	(3.7)								(18.6)	(18.6)					
				4.0	4.0	—	100.0	100.0				19.3	19.3	—	—	—	

本地率： (田) 92%

*作付面積は、受益面積に本地率をかけたものである。

5 労働改善計画

該当なし

6 級地別土地利用区分

該当なし

7 土地配分計画

該当なし

第3節 用水計画

該当なし

第4節 排水計画

該当なし

第5節 道路計画

該当なし

第6節 農用地造成計画

該当なし

第7節 洪水調整計画

該当なし

第8節 干拓計画

該当なし

第9節 農用地整備計画

1 区画整理

該当なし

2 暗渠排水

【全体】と同じ

3 客土

該当なし

4 農地保全

該当なし

第10節 老朽ため池改修計画

該当なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

該当なし

第2節 排水施設

該当なし

第3節 道路及び索道

該当なし

第4節 農用地造成

該当なし

第5節 洪水調整施設

該当なし

第6節 干拓施設

該当なし

第7節 農用地整備施設

1 区画整理

該当なし

2 暗渠排水

【全体】と同じ

3 客土

該当なし

4 除礫

該当なし

5 農地保全

該当なし

第8節 老朽ため池改修施設

該当なし

第6章 付帯工事計画

用地買収及び補償費

該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

- 1 工期 着手 令和元年度
(6)
完了予定 令和12年度 (予定)

2 工事の年度割予定

工種	年度												備考
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
暗渠排水													

第8章 環境との調和への配慮

【全体】と同じ

第9章 換地計画の概要

該当なし

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

区分	事業名	暗 渠 排 水		備 考
		(千円)		
	事業費 ^{※1)}	(16,000)	21,810	
	事務的経費 ^{※2)}	(1,110)	1,535	
	計	(17,110)	23,345	
関連事業 (参考)	—			
	—			

(平成30)

(8)

令和6年度単価。消費税については10%で算定。(但し、物価変動により将来変動することがある。)

※1) 事業費とは土地改良事業に要する費用のうち、事務的経費を差し引いた費用。

※2) 事務的経費とは昭和48年7月23日付け48構改D第609号(設)農林水産省構造改善局長通知により定められた事務費及び工事雑費。

第11章 効 用

(第27表)

事業名	区分	項目	年総効果（便益）額 （千円）	年増加農業所得額（千円）		現況年総農業所得額 （千円）	備 考
					うち機能向上分		
暗渠排水	作物生産効果		(631)	(647)	(647)		
			1,153	1,153	1,153		
	営農経費節減効果		(606)	(606)	(606)		
			701	701	701		
	維持管理費節減効果		(△ 42)	(△ 42)	(△ 42)		
		△ 47	△ 47	△ 47			
	国産農産物安定供給効果		(79)	—	—		
			187				
	計		(1,274)	(1,211)	(1,211)	(903)	(平成30)
			1,994	1,807	1,807	1,664	令和6年度単価

<参考>

総 費 用 :	(16,900)	総 便 益 額 :	(22,027)
	24,405 千円		38,587 千円
当該事業による費用 :	(13,366)	評 価 期 間 :	(46)
	19,768 千円		52 年
そ の 他 費 用 :	(3,534)	割 引 率 :	0.04
	4,637 千円		(1.30)
年 償 還 額 :	(28)	総 費 用 総 便 益 比 :	1.58 ≥ 1.0
	41 千円		(0.031)
う ち 機 能 向 上 分 :	(28)	総 所 得 償 還 率 :	0.025 ≤ 0.2
	41 千円		
年 総 効 果 (便 益) 額 :	(1,274)	増 加 所 得 償 還 率 :	0.023 ≤ 0.4
	1,994 千円		
現 況 年 総 農 業 所 得 額 :	(903)		
	1,664 千円		
年 総 増 加 農 業 所 得 額 :	(1,211)		
	1,807 千円		

第12章 関連する事業

【 全 体 】と同じ

第13章 現況・計画平面図

【 全 体 】と同じ

【区画整理】

第1章 目 的

本地区は豊田市の中心部より東におよそ20km離れている。旧下山村地域の内、花沢町、蕪木町、下山田代町、田折町、蘭町、黒坂町の6町から構成されている水田地帯である。

本地区は、昭和40年から平成12年にかけての県営ほ場整備及びその他ほ場整備等により面整備が行われてきたが、一部の農地は区画形状が不整形であるため、営農に多大の労力がかかっている。

本事業は、区画整理整備を行い、農作業及び維持管理の省力化を図るとともに、優良農地の保全を促進することにより、農家の高齢化・兼業化の進む中、農作業の放棄による農地の荒廃を防ぐことを目的とする。

第2章 地域及び地積

第1節 地 域

(第1表)

事業名	地 域
区 画 整 理	愛知県豊田市 黒坂町

第2節 地 積

(平成30)(12)

(令和7年4月現在)

(第2表)

事業名	市町村名	現況地目					計 (ha)	備 考
		田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)		
区 画 整 理	豊田市	0.4	—	—	—	—	0.4	登記簿地積より

第3章 現 況

第1節 気 象

【 全 体 】と同じ

第2節 土地状況

1 地形、土壌及び浸食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑・その他								受益地標高(m)		備考	
		傾斜区分	1/1,000	1/1,000	1/100	1/20	1/11.5	計	3°以下	3°~8°	8°~15°			15°~20°	20°以上	計	最高		最低
			以下	~1/100	~1/20	~1/11.5	以上				8°~10°	10°~12°	12°~15°						
区画整理	面積 (ha)	-	0.4	-	-	-	0.4	-	-	-	-	-	-	-	-	482	481		
	比率 (%)	-	100	-	-	-	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

(第4表-1-2)

項目 土壌統(区)名	土壌統(区)区分一覧表									面積(ha)		備考	
	土壌断面								堆積様式	母材	事業名		
	色	腐植	礫層	酸化沈殿物	土性			泥炭層 黒泥層 グライ層			区画整理		計
					表土 一層	下層土 二層 三層							
大塚統 G62	灰褐色	なし	なし	糸根、膜、管状あり~富む	壤質	壤質	壤質	なし	洪積	非固結水成岩	0.4	0.4	水田
計											0.4	0.4	

2 土地分類

該当なし

3 土地利用の状況

(平成30) (12)

(令和7年4月現在)

(第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						山 林		採草放牧地 (ha)	そ の 他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)				
区画整理	豊田市	0.4	—	—	—	—	—	—	—	—	0.4	登記簿地積より	

4 土地所有の状況

(平成30) (12)

(令和7年4月現在)

(第4表-4)

事業名	区分	所有別					計	備 考
		個人有地等	国有地	県有地	市有地	改良区有地		
区画整理	面積 (ha)	0.4	—	—	—	—	0.4	
	受益者数 (人)	2	—	—	—	—	2	
	筆数 (筆)	2	—	—	—	—	2	
	権利関係	—	—	—	—	—	—	
	備考 (関係戸数)	2	—	—	—	—	2	

第3節 水利状況

該当なし

第4節 道路概況

該当なし

第5節 地域農業の概況

【全体】と同じ

第6節 地域環境の概況

【全体】と同じ

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1 要旨

本地区は豊田市の中心部より東におよそ20km離れている。旧下山村地域の内、花沢町、蕪木町、下山田代町、田折町、蘭町、黒坂町の6町から構成されている水田地帯である。

本地区は、昭和40年から平成12年にかけての県営ほ場整備及びその他ほ場整備等により面整備が行われてきたが、一部の農地は区画形状が不整形であるため、営農に多大の労力がかかっている。

本事業は、区画整理整備を行い、農作業及び維持管理の省力化を図るとともに、優良農地の保全を促進することにより、農家の高齢化・兼業化の進む中、農作業の放棄による農地の荒廃を防ぐことを目的とする。

2 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用区分	区画整理						計 (ha)	備考
	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)		
事業目的	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
区画整理	0.4	—	—	—	—	0.4	0.4	登記簿地積による

第2節 営農計画及び土地利用計画

1 営農計画の概要

【全体】と同じ

2 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分	水田	普通畑	牧草地	果樹園	茶園	その他	小計	原野	山林	その他	計	備考
		(ha)											
区画整理	現況	0.4	—	—	—	—	—	0.4	—	—	—	0.4	
	計画	0.4	—	—	—	—	—	0.4	—	—	—	0.4	

3 作付方式

【 全 体 】と同じ

4 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目 土地利用区分		作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当り収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備 考
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当り収量増加	
区画整理	水田	表作	水稻	0.4	0.4	—	100.0	100.0	(505.0)	(505.0)	—	(1.9)	(1.9)	—	—	—	
		計			0.4	0.4	—	100.0	100.0				(1.9)	(1.9)	—	—	—

本地率： (田) 92%

*作付面積は、受益面積に本地率をかけたものである。

5 労働改善計画

該当なし

6 級地別土地利用区分

該当なし

7 土地配分計画

該当なし

第3節 用水計画

該当なし

第4節 排水計画

該当なし

第5節 道路計画

該当なし

第6節 農用地造成計画

該当なし

第7節 洪水調整計画

該当なし

第8節 干拓計画

該当なし

第9節 農用地整備計画

1 区画整理

【 全 体 】と同じ

2 暗渠排水

該当なし

3 客 土

該当なし

4 農地保全

該当なし

第10節 老朽ため池改修計画

該当なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

該当なし

第2節 排水施設

該当なし

第3節 道路及び索道

該当なし

第4節 農用地造成

該当なし

第5節 洪水調整施設

該当なし

第6節 干拓施設

該当なし

第7節 農用地整備施設

- 1 区画整理
【 全 体 】と同じ
- 2 暗渠排水
該当なし
- 3 客土
該当なし
- 4 除礫
該当なし
- 5 農地保全
該当なし

第8節 老朽ため池改修施設

該当なし

第6章 付帯工事計画

用地買収及び補償費

該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

- 1 工期 着手 令和元年度
(6)
完了予定 令和12年度 (予定)

2 工事の年度割予定

工種	年度												備考	
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度		
暗渠排水														

第8章 環境との調和への配慮

【 全 体 】と同じ

第9章 換地計画の概要

該当なし

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

区分	事業名	区 画 整 理 (千円)	備 考
	事業費 ^{※1)}	(5,000) 3,972	
	事務的経費 ^{※2)}	(350) 154	
	計	(5,350) 4,126	
関連事業 (参考)	—		
	—		

(平成30)

(8)

令和6年度単価。消費税については10%で算定。(但し、物価変動により将来変動することがある。)

※1) 事業費とは土地改良事業に要する費用のうち、事務的経費を差し引いた費用。

※2) 事務的経費とは昭和48年7月23日付け48構改D第609号(設)農林水産省構造改善局長通知により定められた事務費及び工事雑費。

第11章 効 用

(第27表)

事業名	項目 区分	年総効果（便益）額 （千円）	年増加農業所得額（千円）		現況年総農業所得額 （千円）	備 考
				うち機能向上分		
区画整理	営農経費節減効果	(247) 286	(247) 286	(247) 286		
	計	(247) 286	(247) 286	(247) 286	(97) 119	(平成30) 令和6年度単価

<参考>

総費用：	(4,136) 4,098千円	総便益額：	(4,270) 6,556千円
当該事業による費用：	(4,136) 4,098千円	評価期間：	(46) 52年
その他費用：	(31) －千円	割引率：	(1.03) 0.04
年償還額：	(9) 27千円	総費用総便益比：	(0.320) 1.59 ≥ 1.0
うち機能向上分：	(247) 27千円	総所得償還率：	(0.036) 0.227 > 0.2
年総効果（便益）額：	(97) 286千円	増加所得償還率：	0.094 ≤ 0.4
現況年総農業所得額：	(247) 119千円		
年総増加農業所得額：	286千円		

第12章 関連する事業

【全体】と同じ

第13章 現況・計画平面図

【全体】と同じ